

**これからは、  
環境にやさしい農業と地産地消が大切！**

**令和7年11月16日  
農林水産省九州農政局地方参事官（鹿児島県担当）  
窪山 富士男**

# ちょっと自己紹介！？



昭和43年3月 始良市（旧始良町）生まれ 57歳

昭和61年3月 鹿児島県立加治木高等学校卒業

昭和61年4月 農林水産省鹿児島食糧事務所入所

平成10年4月 農林水産省本省へ異動  
（米政策、担い手政策、6次産業化、収入保険、デジタル政策など）

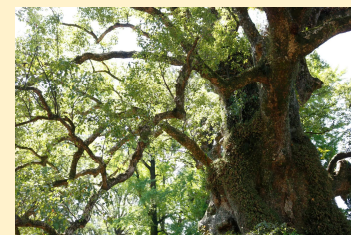
令和6年4月 農林水産省九州農政局地方参事官  
（鹿児島県担当）として着任

（趣味）Jazz Vocal、野菜作り など

住吉池



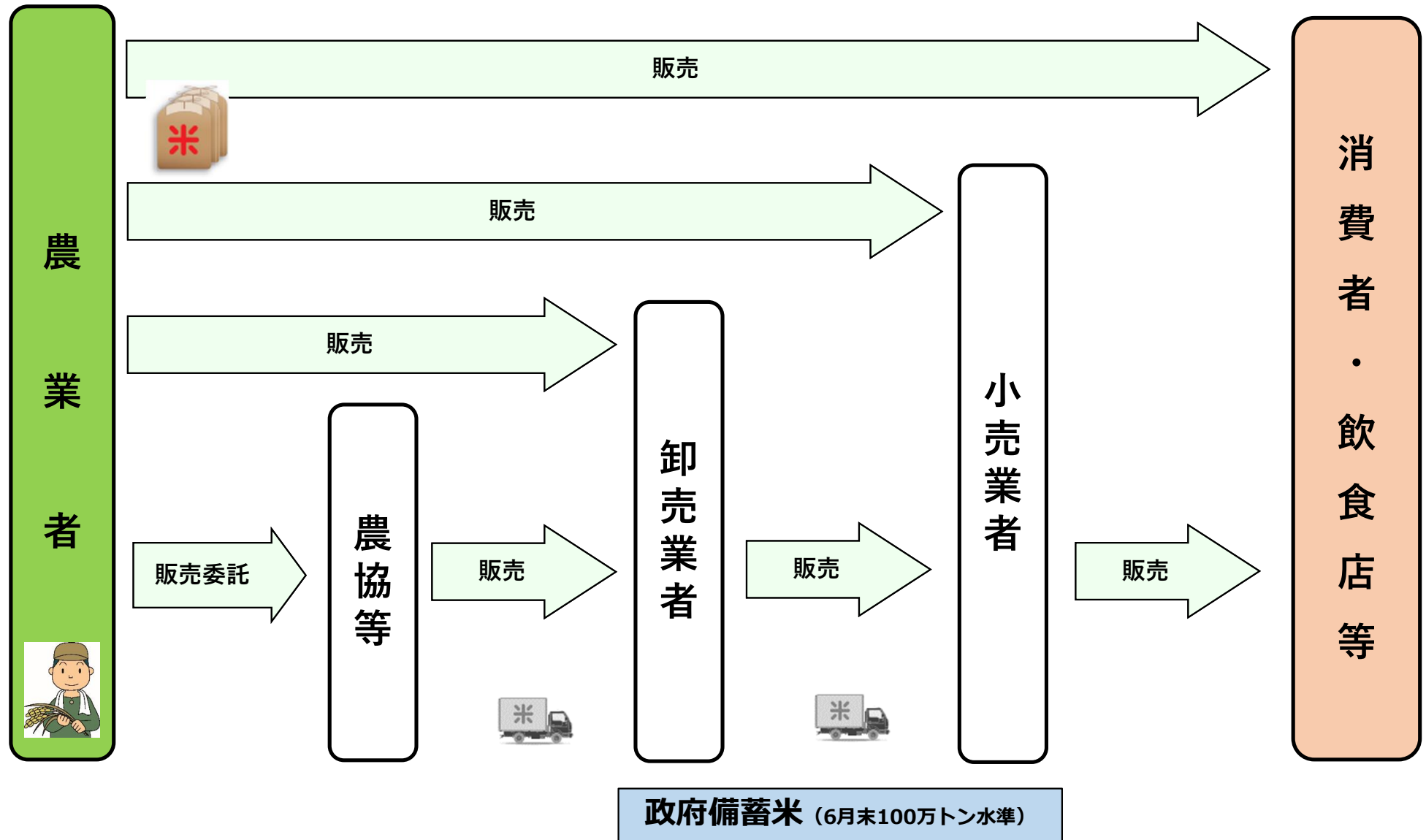
蒲生の大楠（蒲生八幡）



**まずは、米のお話から**

# 米の生産・流通の主な流れ

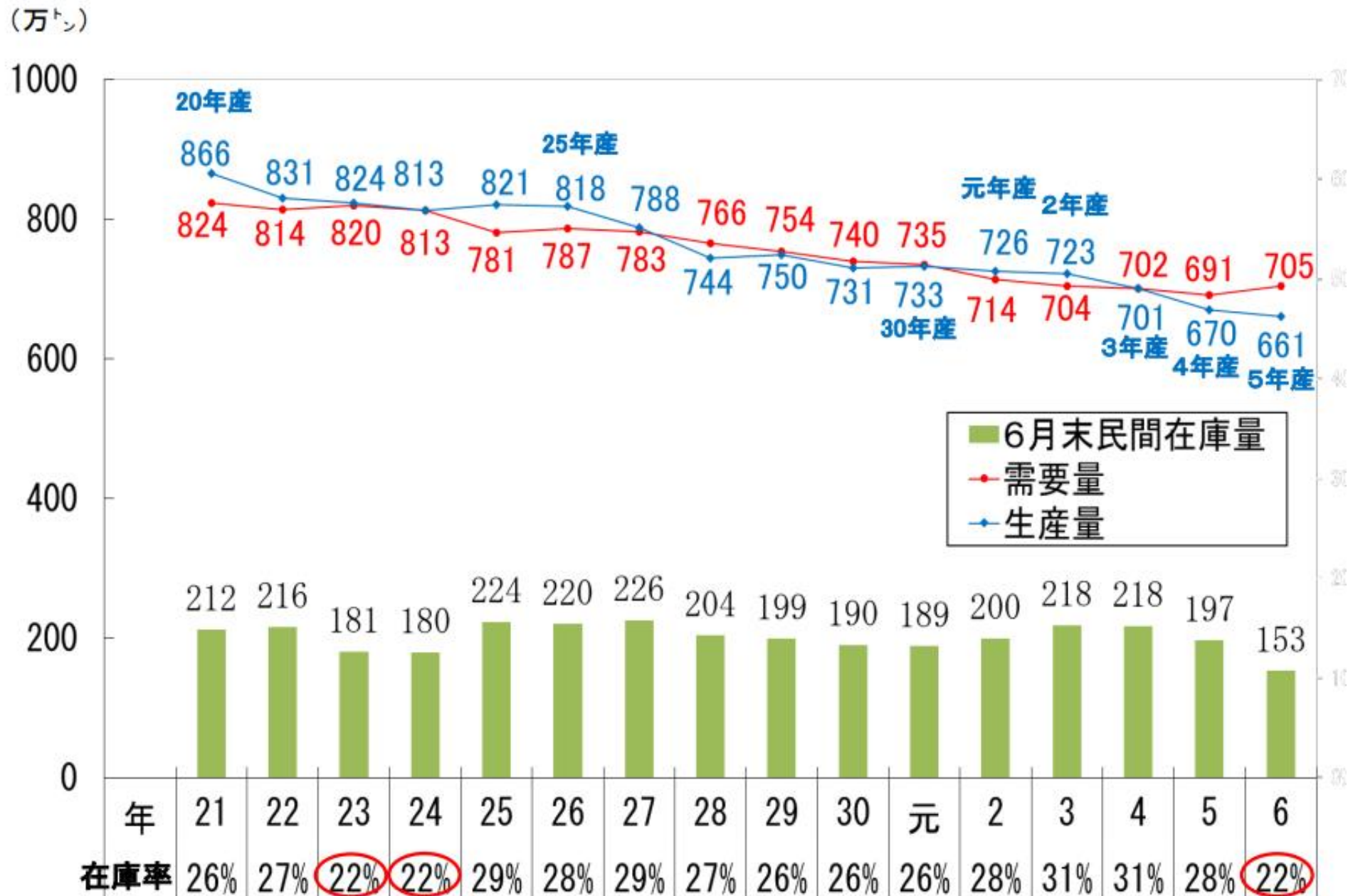
販売先を確保できない農業者は、通常は農協等に販売委託



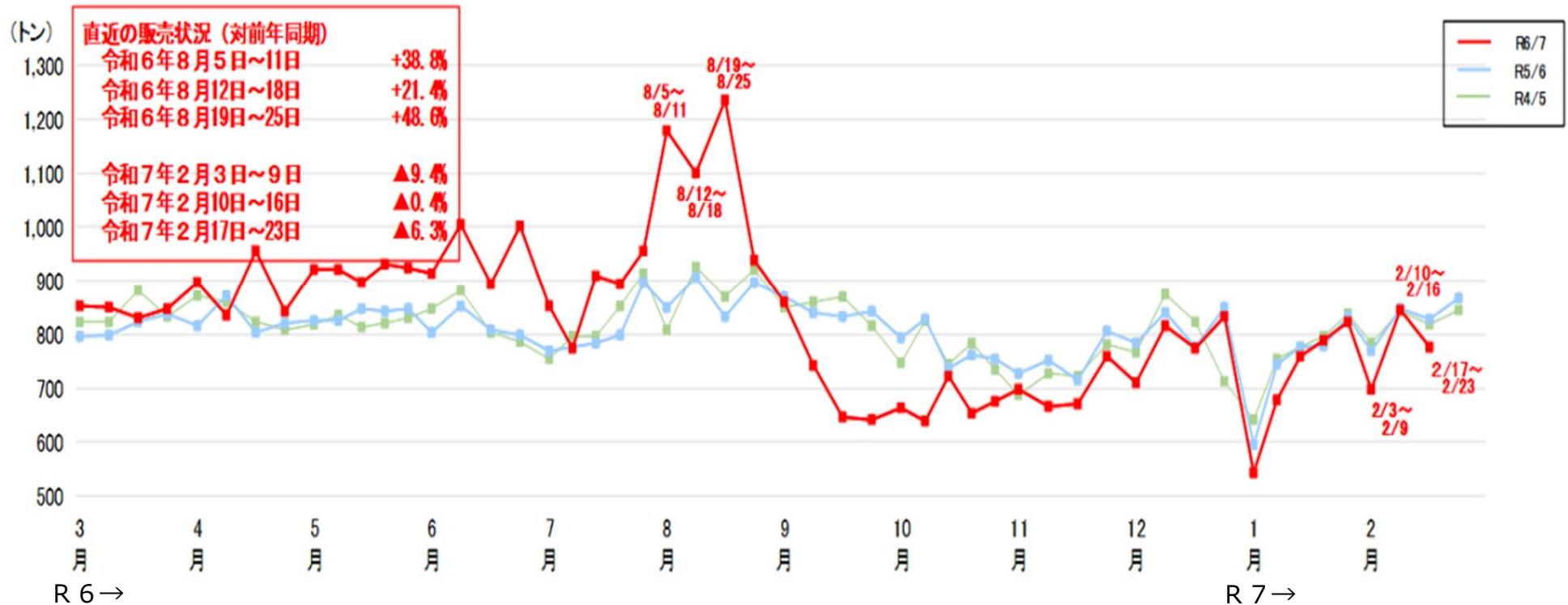
※ 米は、主食用米のほかに、鹿児島県内では、焼酎用、酢用、菓子用などに流通しています。



# 昨年6月末の民間在庫量は、近年では低い水準 (米は秋に収穫されて販売開始。6月末頃が通常端境期)



# スーパーでは、昨年夏に、買い込み需要が発生

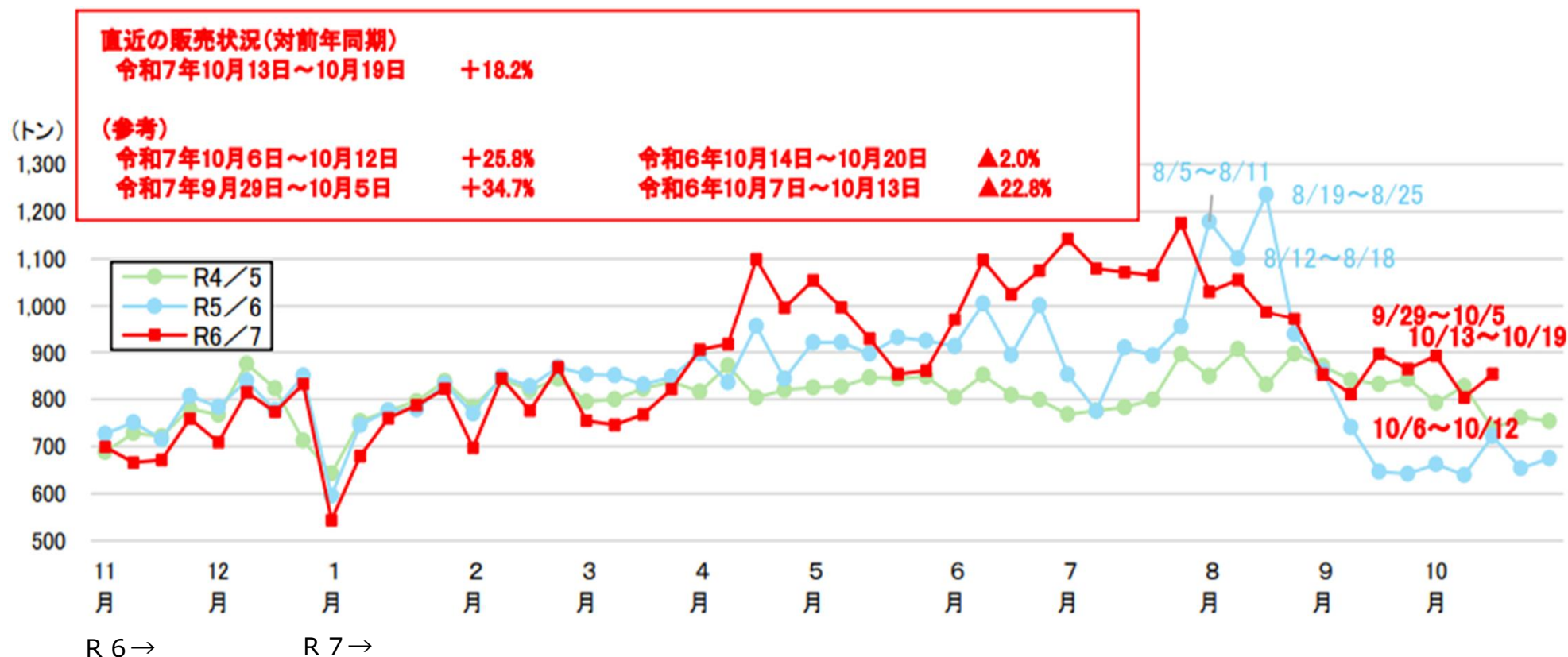


資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータ(全国約1,000店舗のスーパー、生協等)に基づいて農林水産省が作成。

注：週次データを月ベースに当てはめているため、実際の月とは異なる場合がある。

南海トラフ地震警報、大型台風などの影響

# 本年4月以降、前年を上回る水準で推移



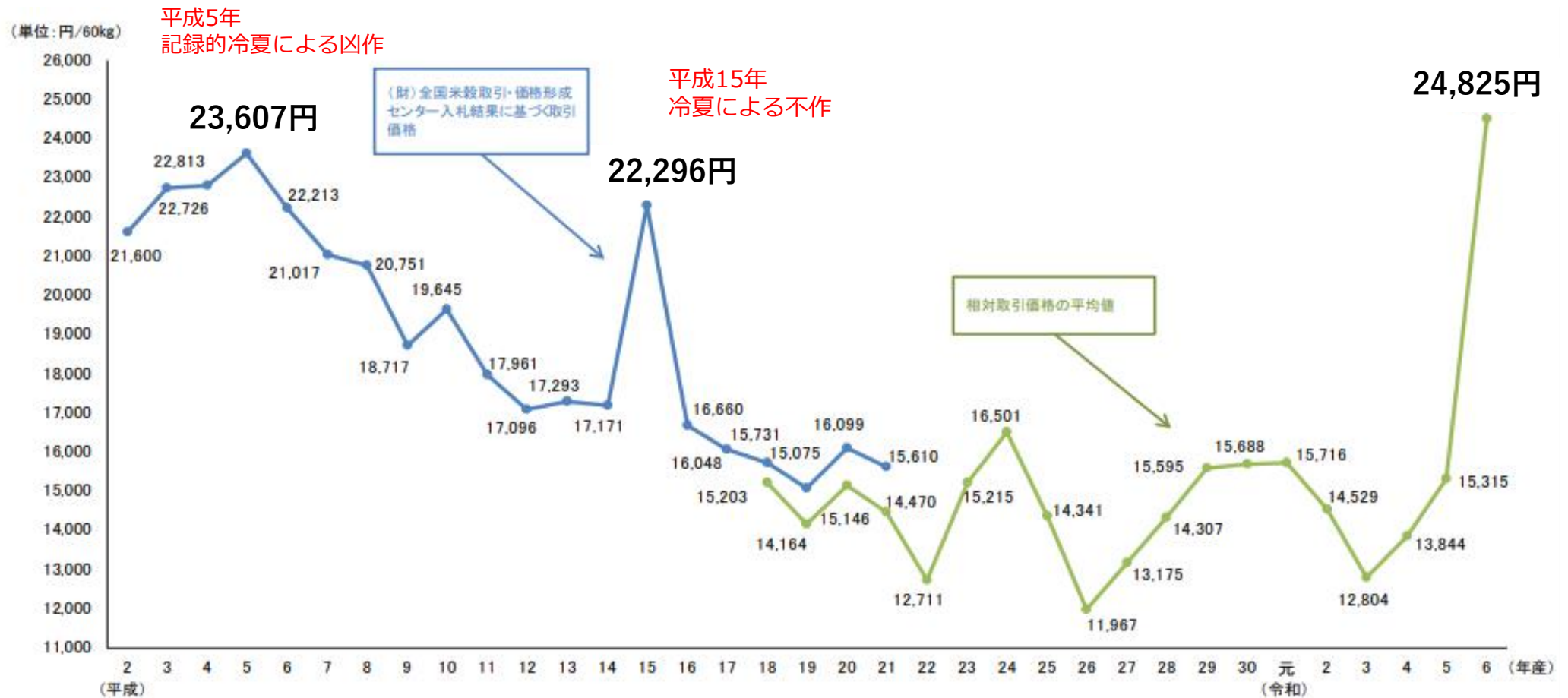
資料:(株)KSP-SPが提供するPOSデータ(全国約1,000店舗のスーパー、生協等)に基づいて農林水産省が作成。

注:週次データを月ベースに当てはめているため、実際の月とは異なる場合がある。

政府備蓄米の流通

# 価格は需要と供給のバランスで決まる

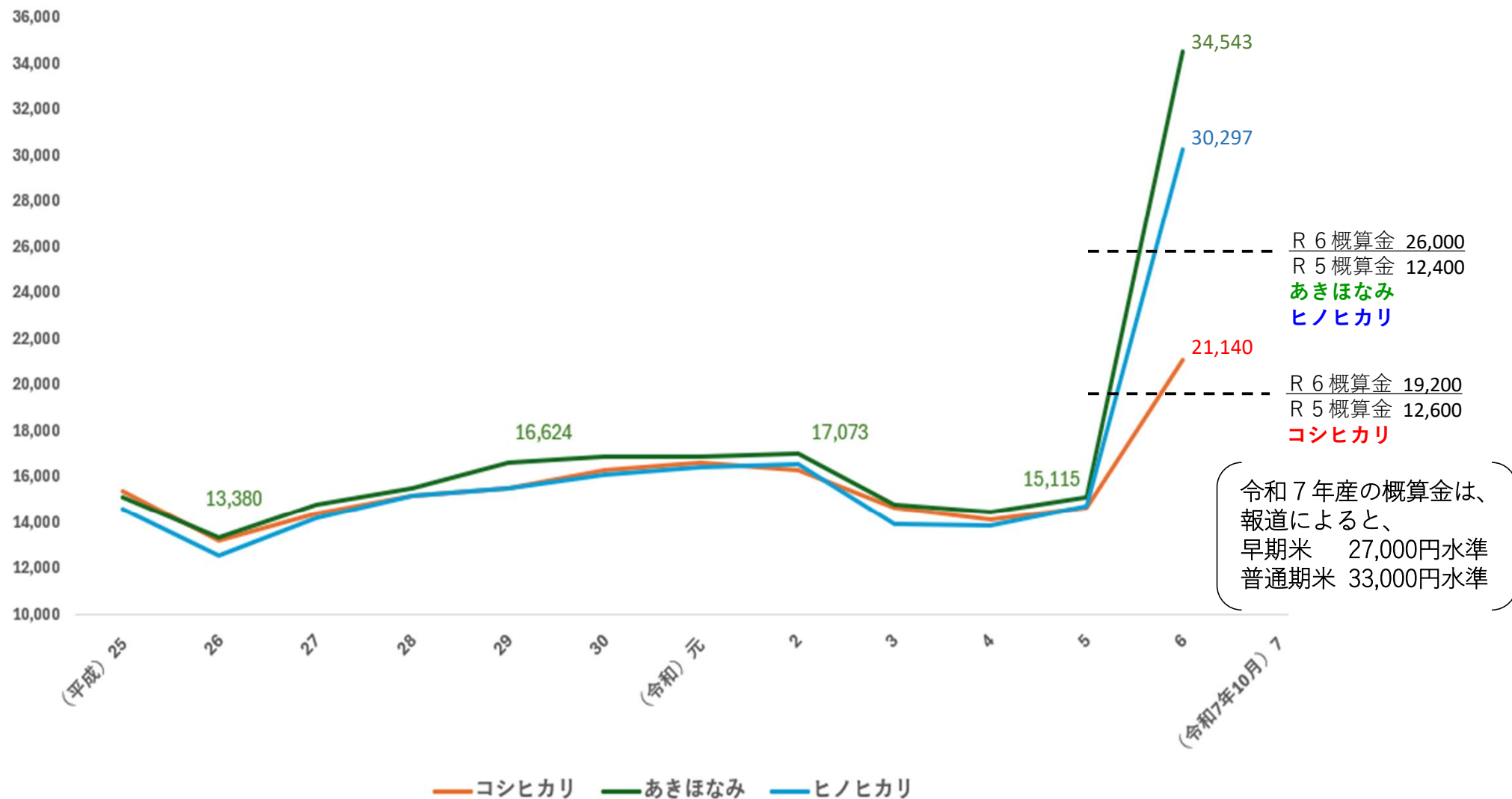
平成の5年産や15年産は、不作で生産量が減少  
令和の5年産や6年産は、高温障害等で精米が不足



注：年産別平均価格（令和6年産は、出回りから令和7年8月までの速報値）。

# (参考) 鹿児島県産米の価格の推移

主食用1等、円／玄米60Kg（税込）

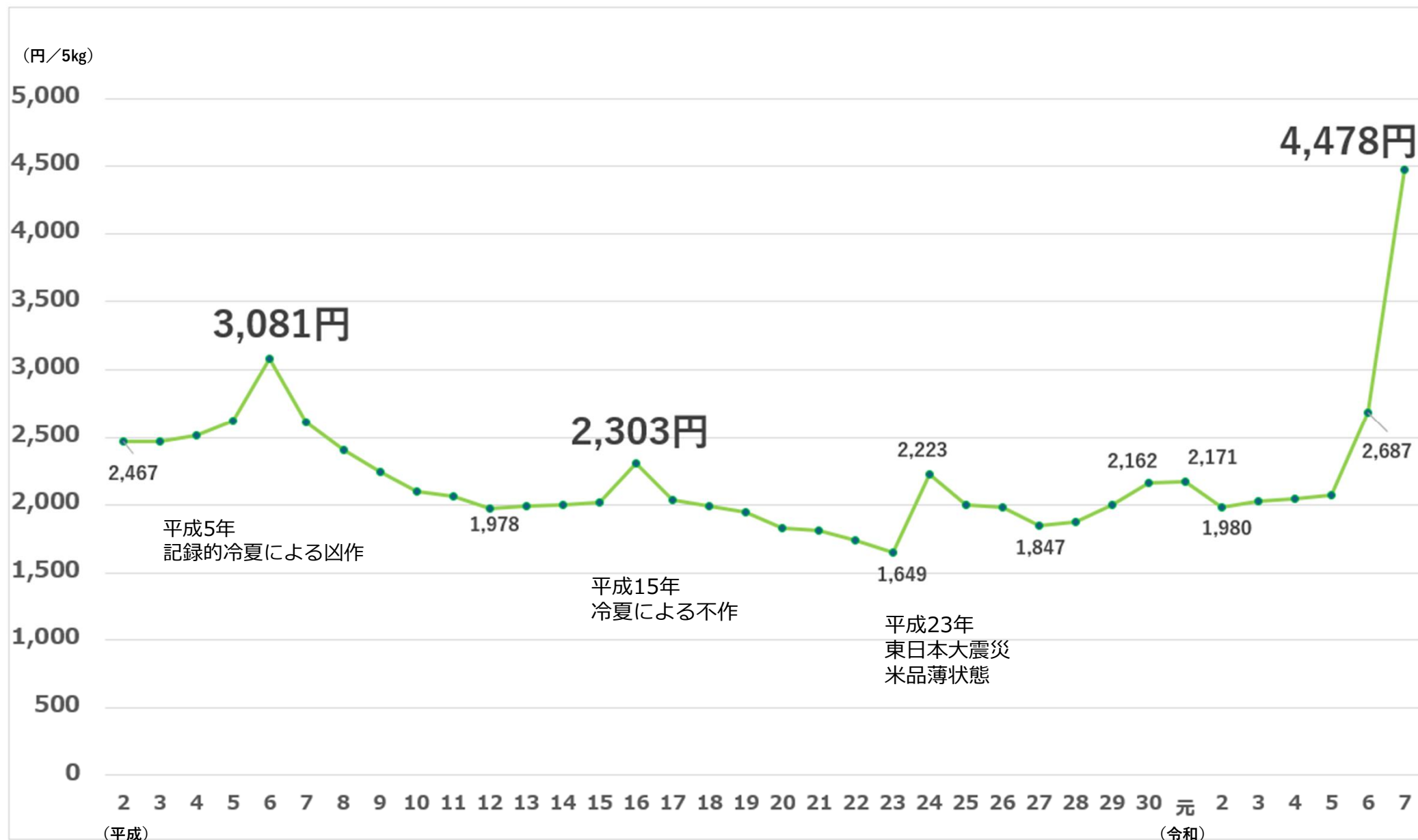


資料：農林水産省ホームページ「米に関するマンスリーレポート」より

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>



# (参考) 店頭での精米価格（5 kg）の推移

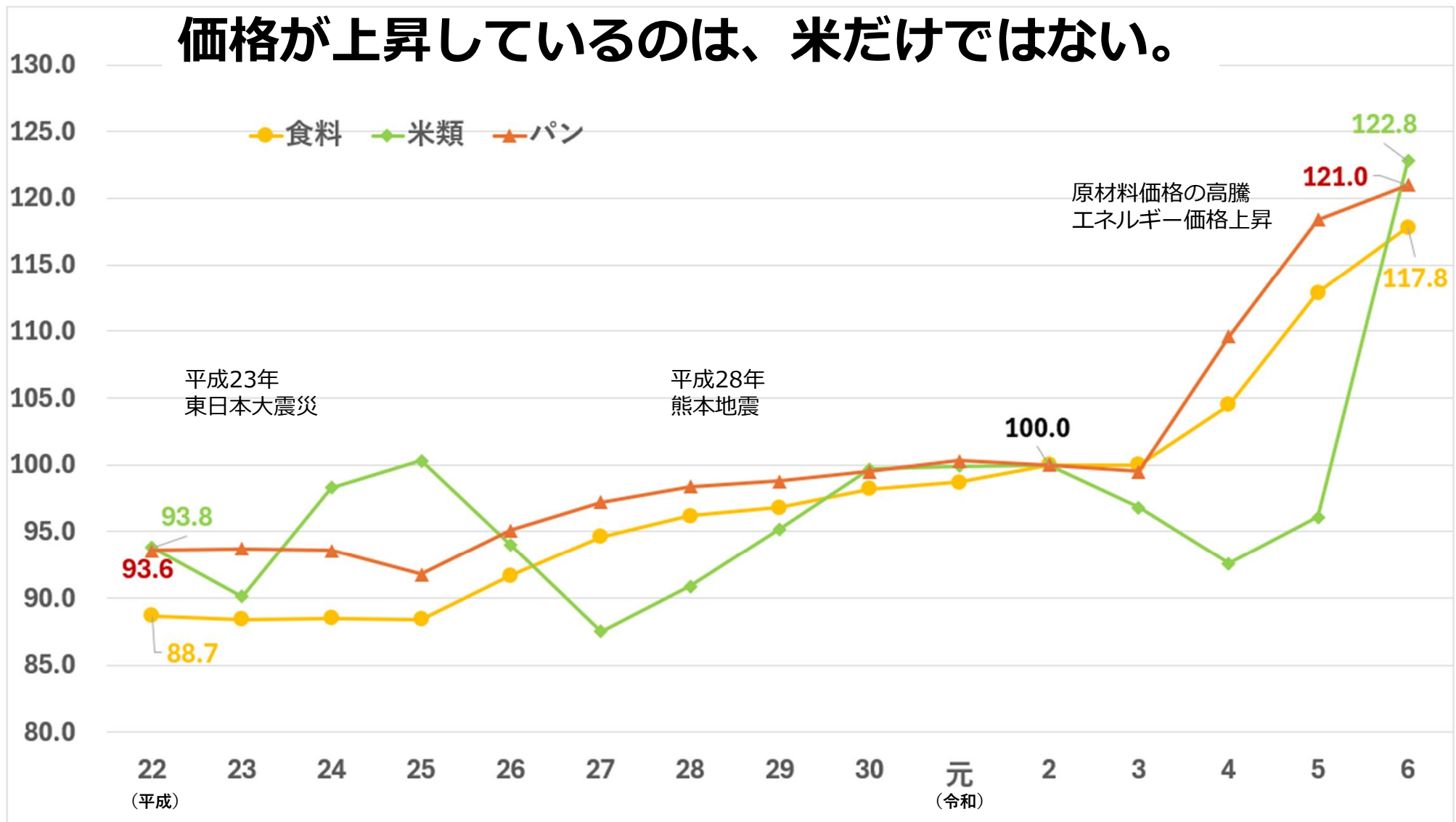


出展：総務省統計局の小売物価統計調査（動向編）

注：主要品目の都市別小売価格-都道府県庁所在市及び人口15万以上の市  
うるち米(単一原料米,「コシヒカリ」以外)

※令和7年は、1～9月の平均価格

# (参考) 消費者物価指数の推移 (品目別価格指数：食料、米類、パン)



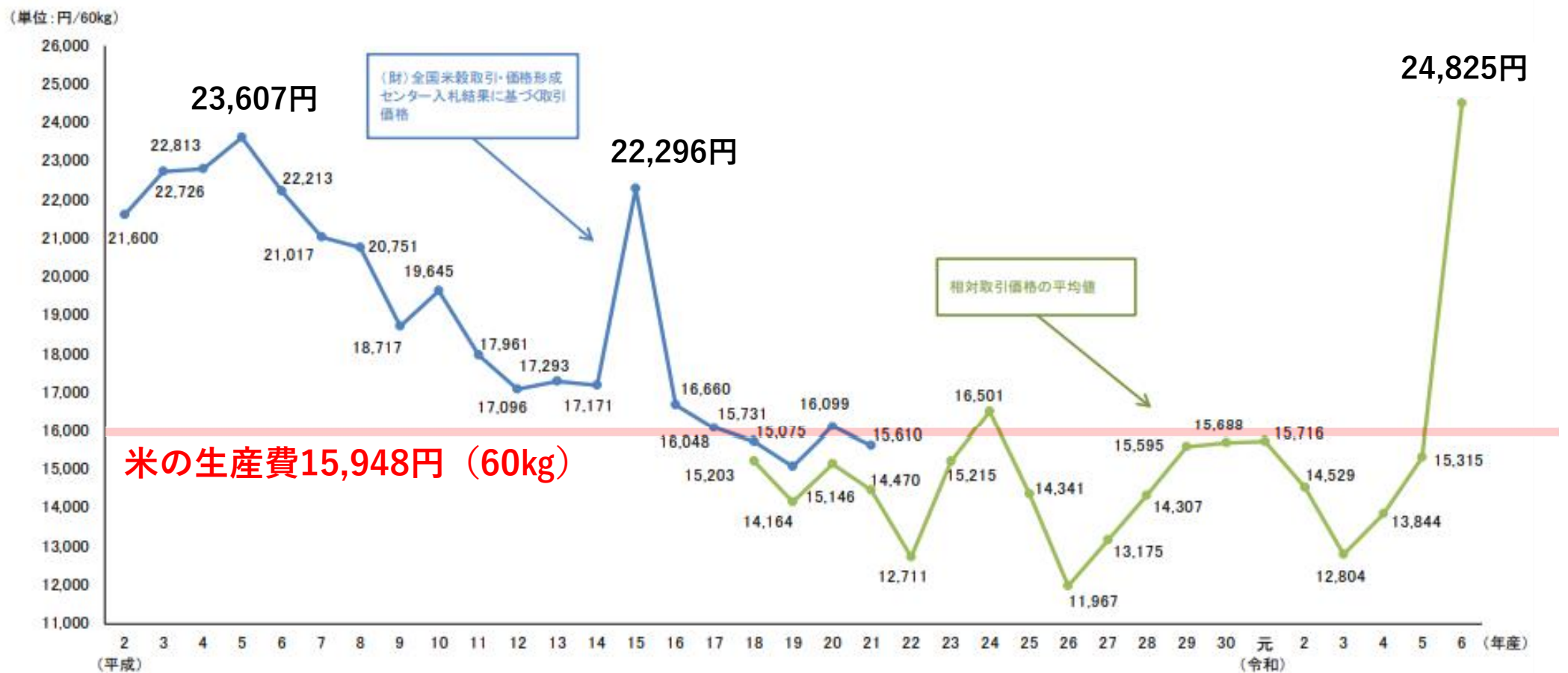
出展：総務省統計局消費者物価指数  
 ※消費者物価指数とは  
 一般消費者が日常的に購入する商品  
 やサービスの価格変動を測定する指標

※品目別価格指数とは  
 特定の品目の価格が、ある基準時点  
 を100として、比較時点での価格をど  
 のように変化したかを示す指数

※ 令和2年（2020年）を指数100とした場合

# (参考) 米の販売価格と生産費の関係

米も商品であり、生産するには、  
肥料、機械等の物財費や労働費等がかかる。



注：年産別平均価格（令和6年産は、出回りから令和7年8月までの速報値）。

※ 米の生産費は、令和5年産のデータ。



# (参考) 「ごはん」と「ぱん」の比較 (試算)



茶わん一杯 (例：65グラム)



食ぱん 2 枚 (例：120グラム)

カロリー      **234 kcal**

**298 kcal**

価格      **約50円**

(例：3,500円／5kg)

**約150円**

(例：400円／一斤、国産小麦)

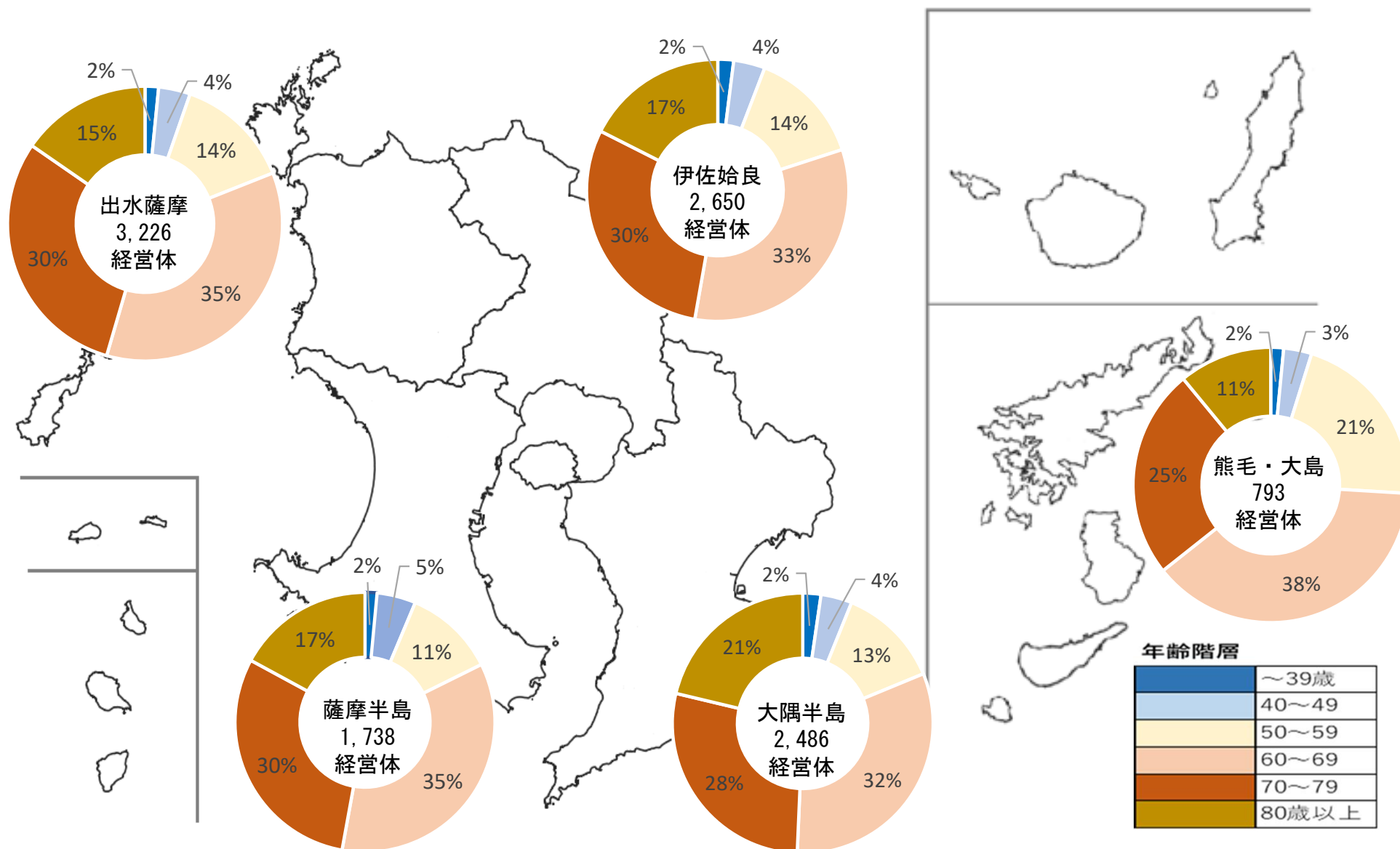
# 鹿児島県の稲作の現状

# 鹿児島県の 主食用米の「生産の目安」に対する実績の推移

|              | 令和4年産                  | 令和5年産                  | 令和6年産                  | 令和7年産                  |
|--------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 生産の<br>目安 ①  | 99,830 t<br>(20,580ha) | 98,940 t<br>(20,400ha) | 90,000 t<br>(18,600ha) | 90,000 t<br>(18,600ha) |
| 実績<br>(見込) ② | 79,300 t<br>(16,600ha) | 76,600 t<br>(15,800ha) | 73,300 t<br>(15,600ha) | 85,900 t<br>(17,600ha) |
| ②－①          | △ 20,530 t             | △ 22,340 t             | △ 16,700 t             | △ 4,100 t              |

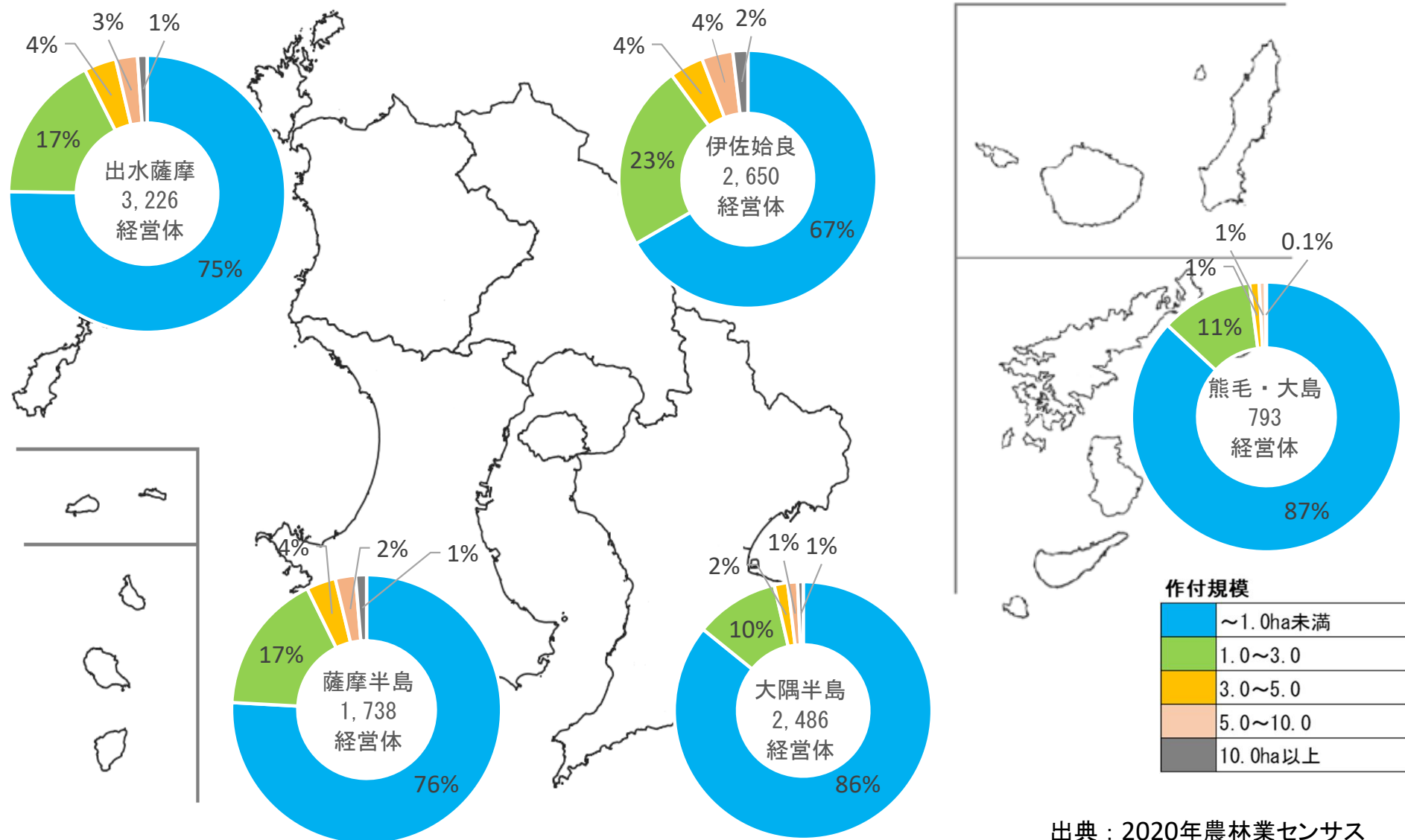
資料：鹿児島県提供「生産の目安」を基に作成

# 鹿児島県の水稲作経営体数（作柄表示地帯別・年齢構成別）



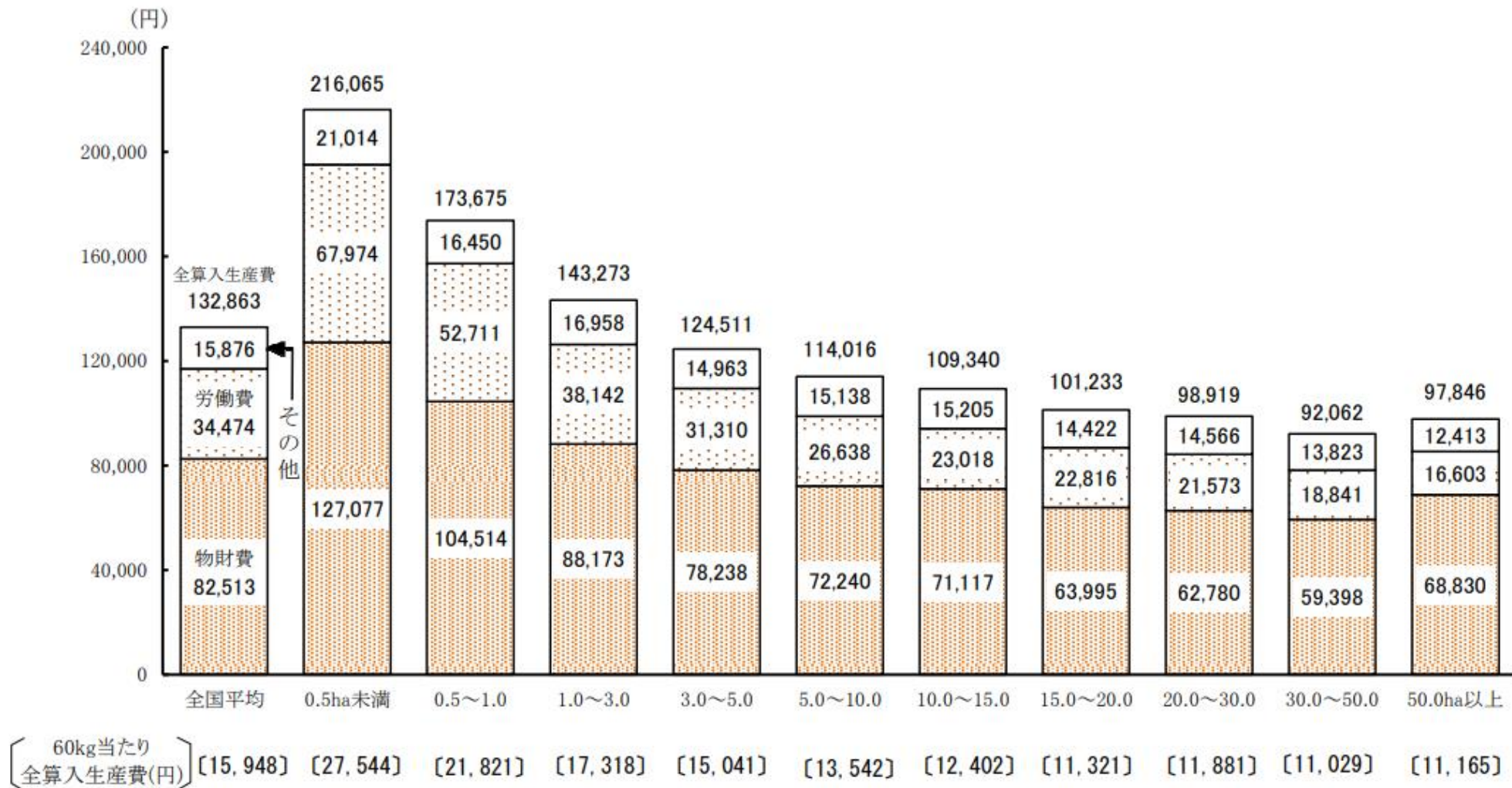
出典：2020年農林業センサス

# 鹿児島県の水稲作経営体数（作柄表示地帯別・作付規模別）



出典：2020年農林業センサス

# 米の作付規模別の全算入生産費 (令和5年産・個別経営体・全国、10a当たり)

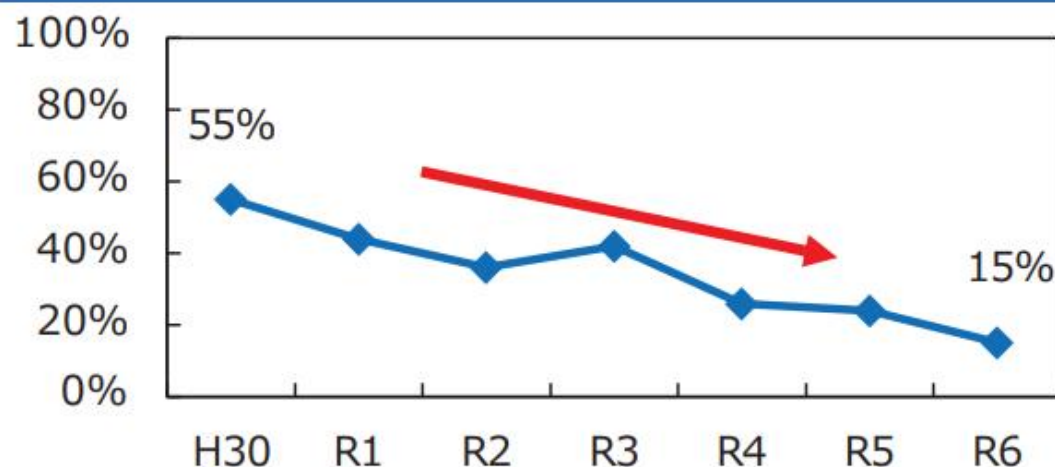


※ 小規模経営体も、

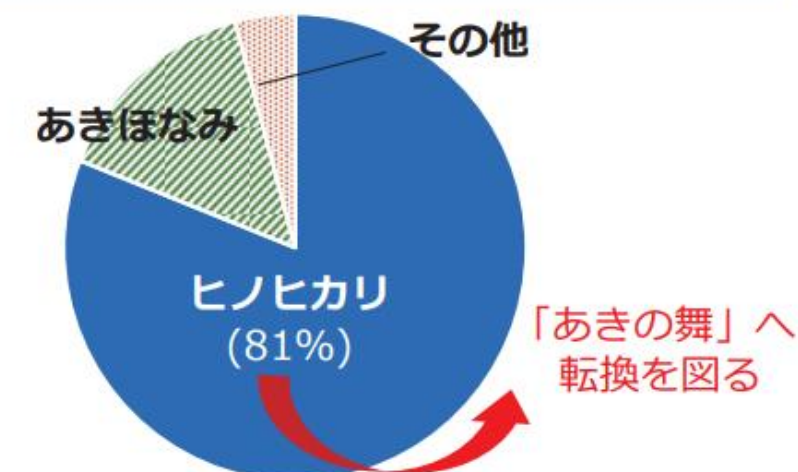
- ・ まとまれば、規模が大きくなり、
- ・ 大型機械の共同利用、作業の役割分担などにより、効率的な営農を実現すれば、
- ・ コスト削減ができる

# 新しい品種 あきの舞の普及

【現状】 夏季の高温などにより主力品種「ヒノヒカリ」の品質は低下傾向



本県産「ヒノヒカリ」の一等米比率  
※農林水産省公表(R6年12月31日時点)



本県産普通期水稻の作付比率(R6)  
※県農産園芸課調べ



# 「ヒノヒカリ」と「あきの舞」

おいしい

- 「ヒノヒカリ」と同程度の良食味



## <食味アンケート結果※>

- もちもちしている
- 甘みがあって美味しい
- 粒感がある など

※令和6年10月,消費者を対象に実施  
※個人の感想です

高品質

- 暑さに強く,暑い夏でも外観品質が低下しにくい



- 暑さによる品質低下は,食味の低下につながります
- 「ヒノヒカリ」よりも少し粒が大きいです



**小規模な高齢農家が  
鹿児島県の米生産を支えているのが実態。**

**10年先のことを考えると・・・**

**鹿児島県の稲作を継続し、  
安定供給できるようにするためには、  
各地域で、生産体制を整えることが必要！**

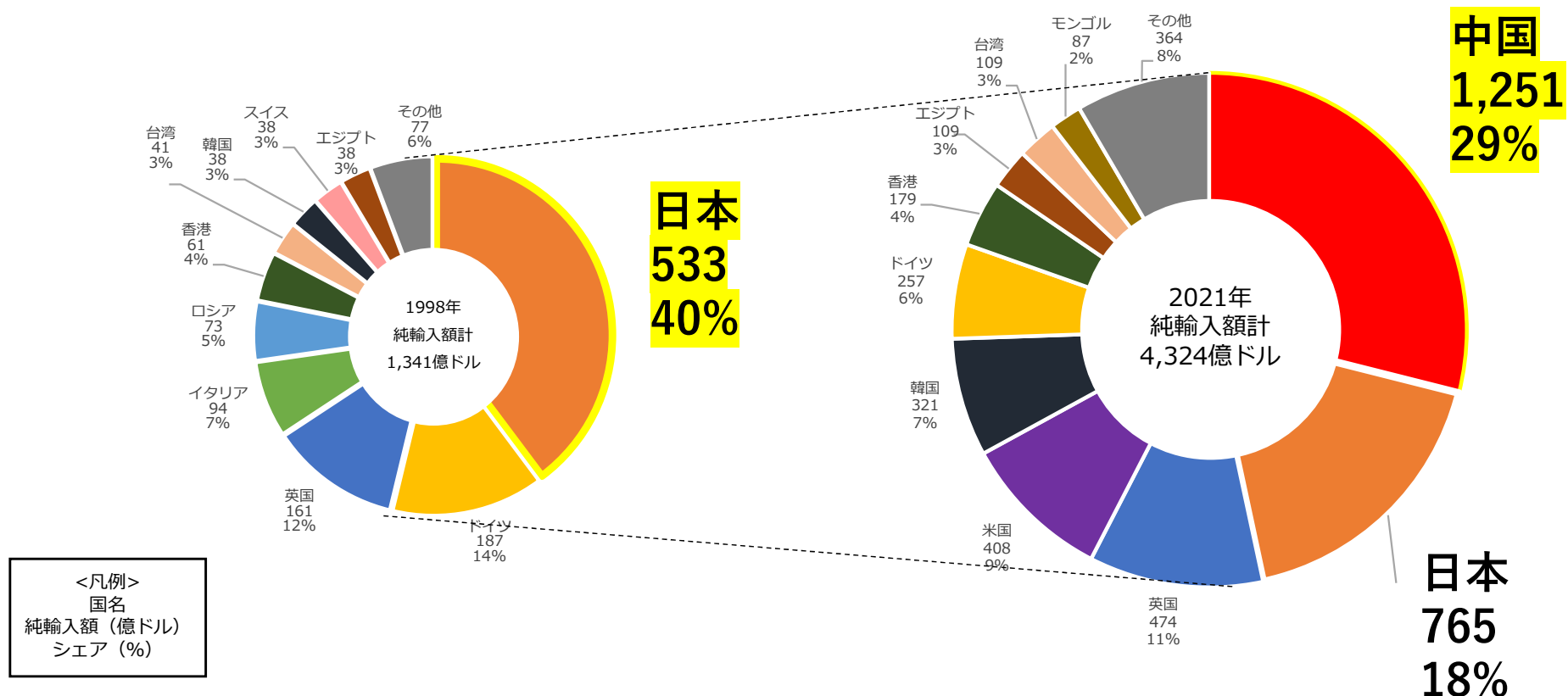
# 社会情勢、農業情勢の変化を踏まえ、 「食料・農業・農村基本法」を改正

- ・ 農政の憲法である「食料・農業・農村基本法」は、平成11年に制定（以前は昭和36年制定の「農業基本法」）
- ・ 今回の改正で、新たに、  
「食料安全保障の確保」  
「環境と調和のとれた食料システムの確立」  
が政策の柱に

# 先々、日本の食料の調達に不安！

- ・ 1998年（平成10年）当時、日本は世界 1 位の農林水産物の純輸入国。
- ・ 近年、経済成長が著しい中国が輸入を増やし、プライスメーカー的な地位になりつつある中、日本がそれに左右されることとなる可能性。

## 農林水産物純輸入額の国別割合

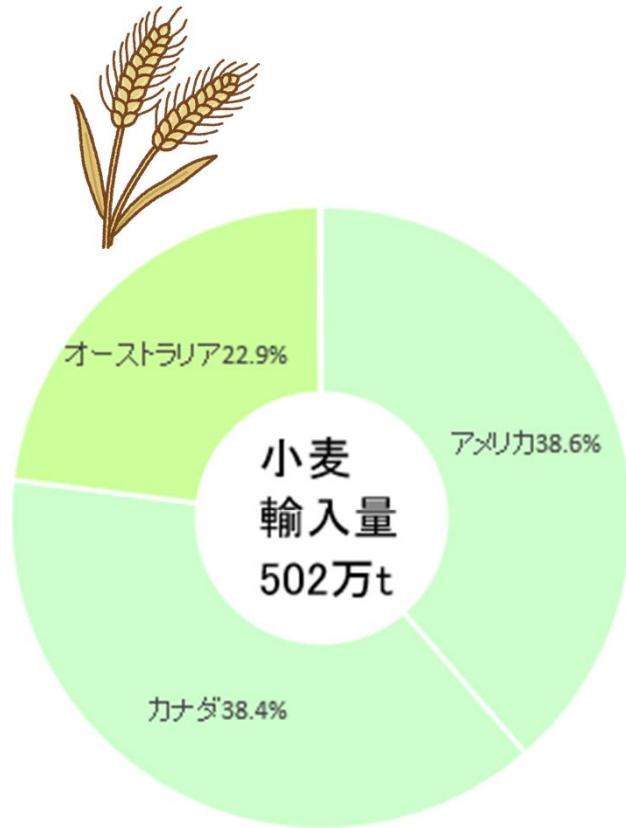


資料：「Global Trade Atlas」を基に農林水産省作成  
 注：経済規模とデータ制約を考慮して対象とした41か国のうち、純輸入額（輸入額-輸出額）がプラスとなった国の純輸入額から作成。

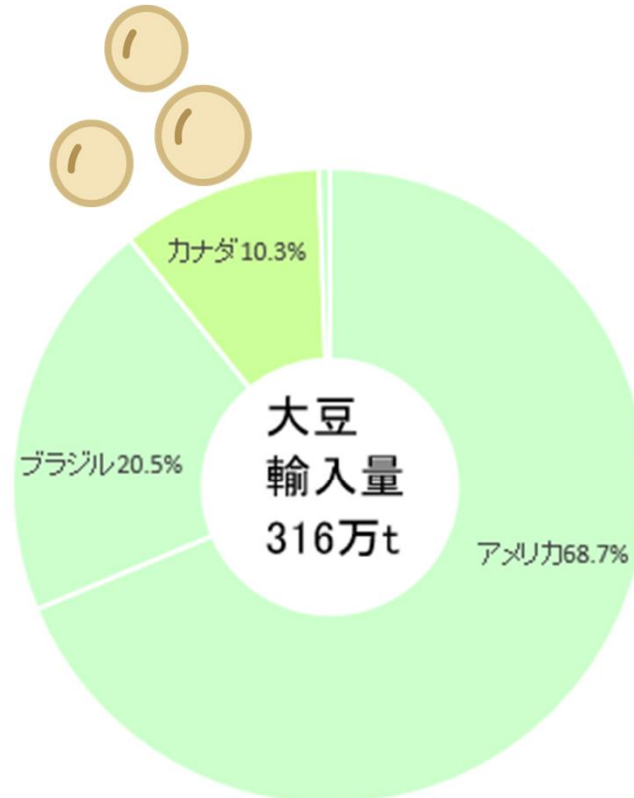
# 穀物の輸入依存度が高いです！

消費量約3,300万 t のうち約2,300万 t（約7割）を輸入  
国内生産の増大が必要！

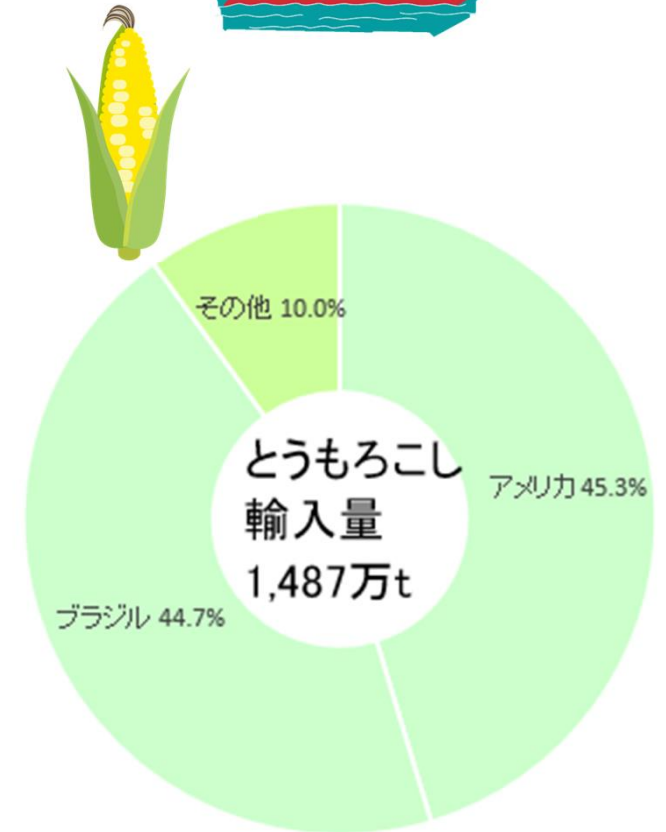
二酸化炭素



資料：令和5年



資料：令和5年



資料：令和5年



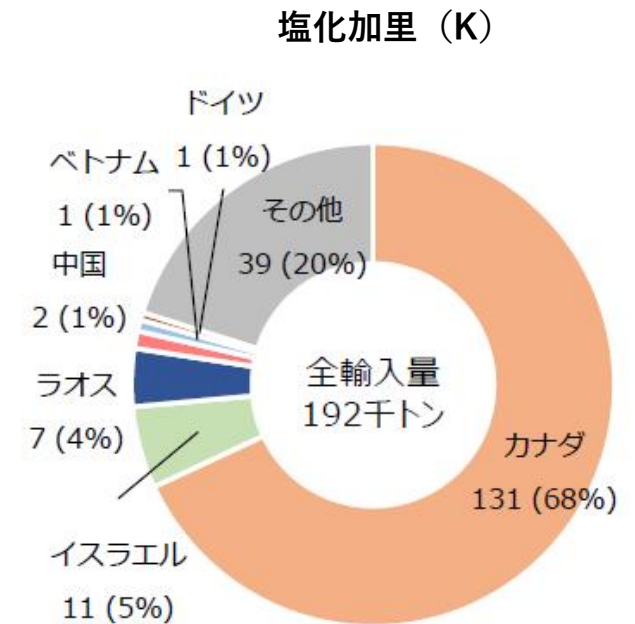
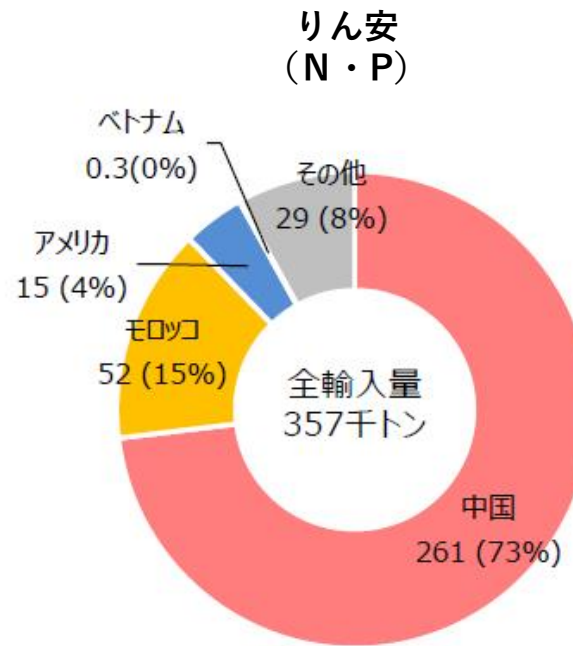
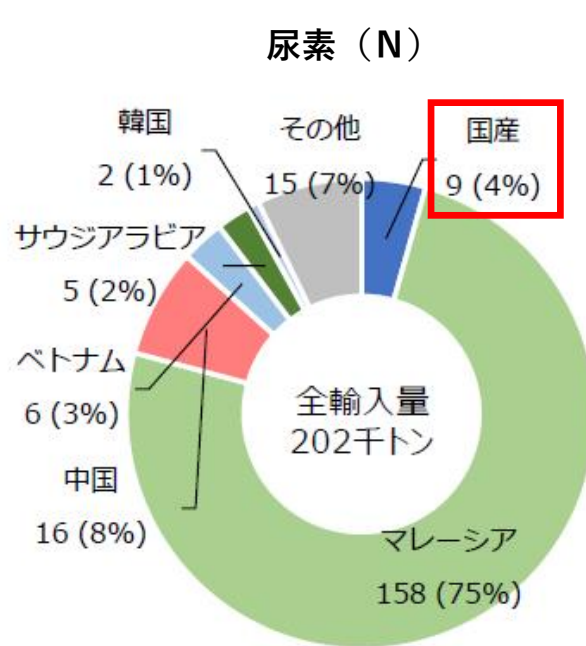
# 化学肥料・農薬の原料も海外からの輸入です！

化学肥料原料の主原料のほぼ全量を輸入  
国内資源への転換が必要！

二酸化炭素



R5 肥料年度（令和5年7月～令和6年6月）



資料：農林水産省作成



# (参考) 食料自給率の推移

食料自給率（カロリーベース）は、

米中心の「日本型食生活」からパンや肉類等中心の「欧米型食生活」への変化の影響等により、昭和40年～平成10年頃にかけて低下してきたが、その後は、40%程度で推移。

- 食料自給率とは、国内の食料全体の供給に対する食料の国内生産の割合を示す指標。
- 分子を国内生産、分母を国内消費仕向として計算。

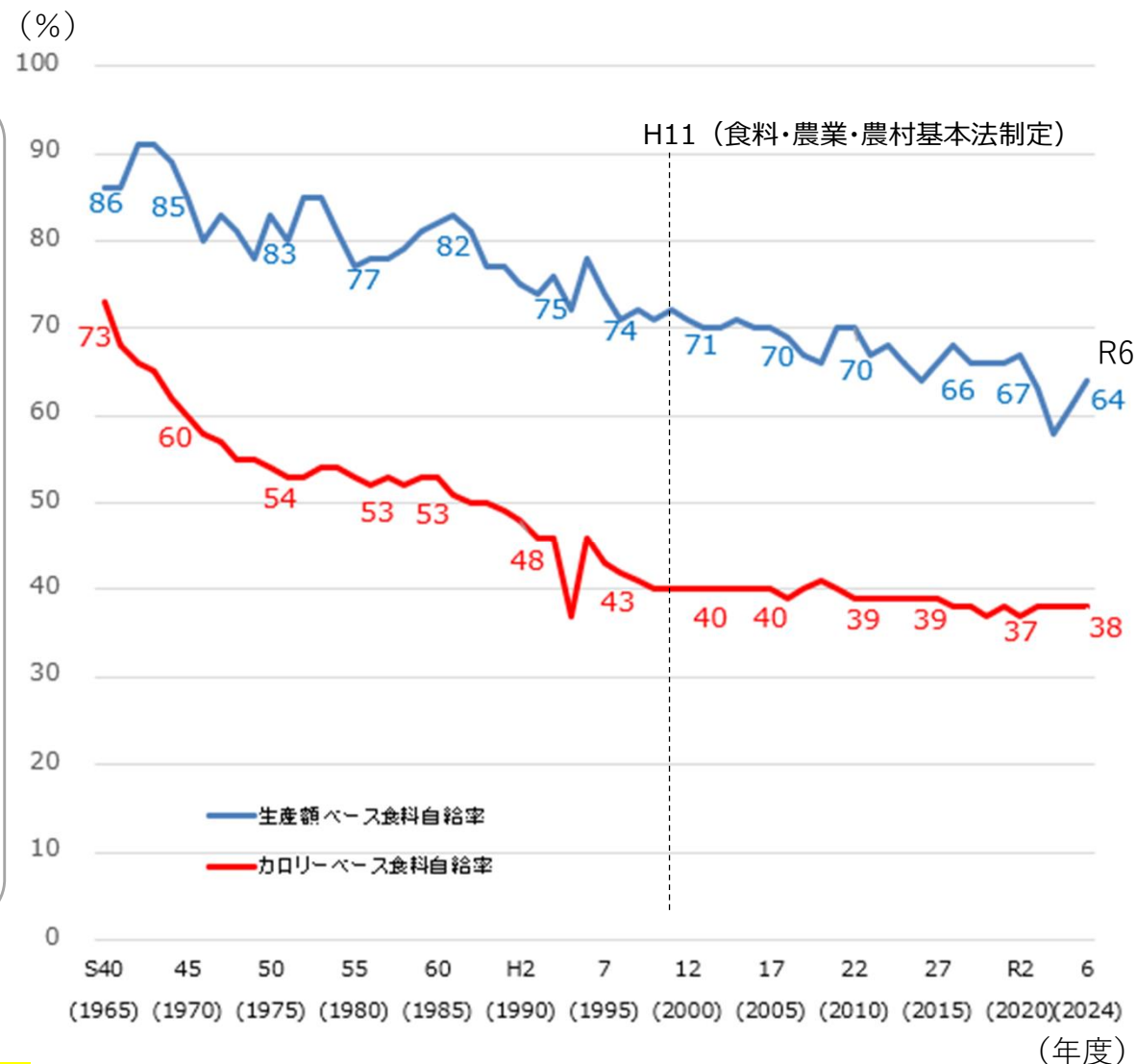
## 食料自給率

$$= \frac{\text{国内生産}}{\text{国内消費仕向}}$$

$$= \frac{\text{国内生産 (輸出向けの生産を含む)}}{\text{国内生産 (同上) + 輸入 - 輸出 ± 在庫増減}}$$

(参考) 米の一人当たり年間消費量

S37年 : 118.3kg → R6年 : 53.4kg  
(茶わん約5.4杯/日) (茶わん約2.5杯/日)

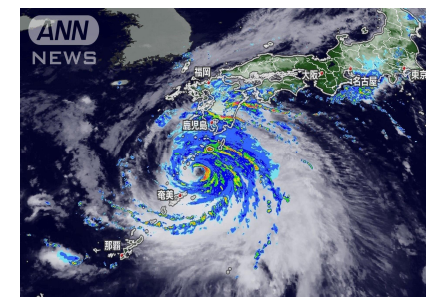


資料：農林水産省「食料需給表」を基に作成

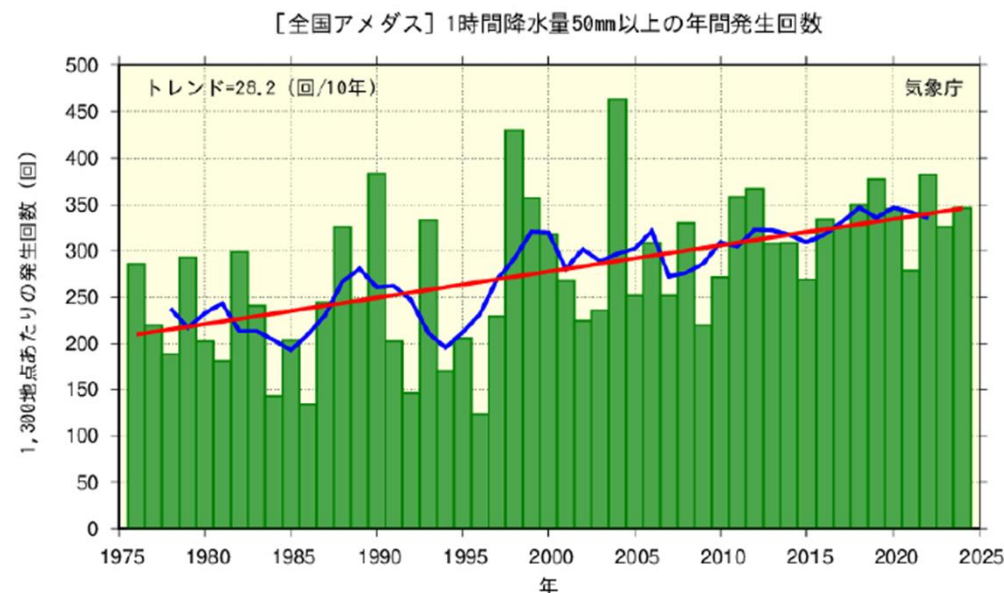
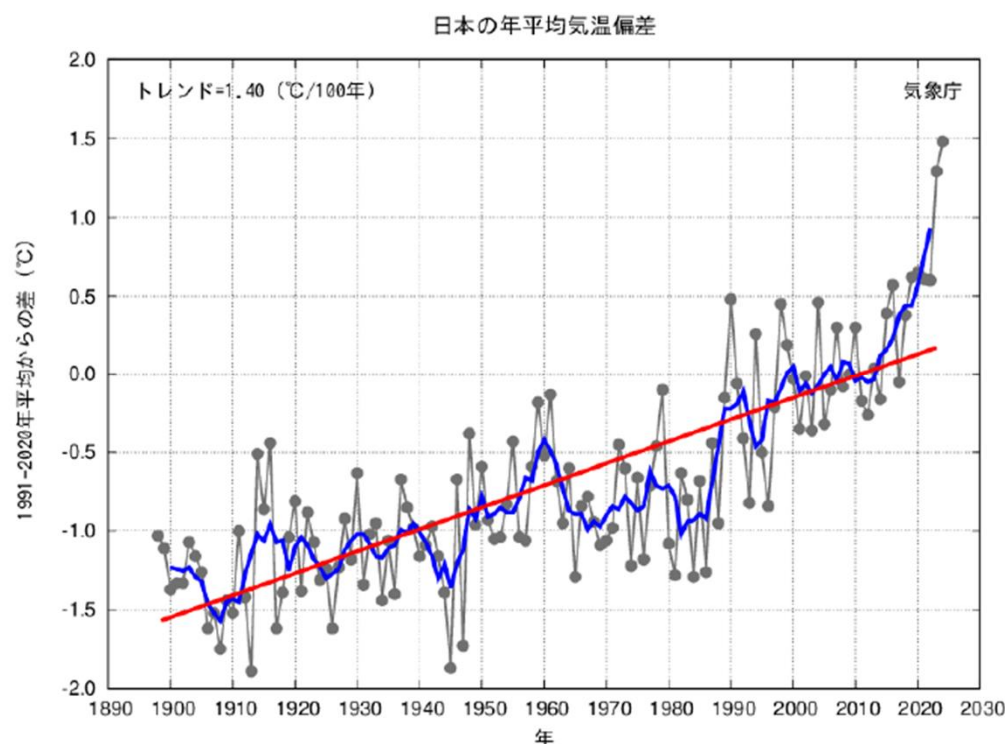


# 地球温暖化は社会的な問題です！

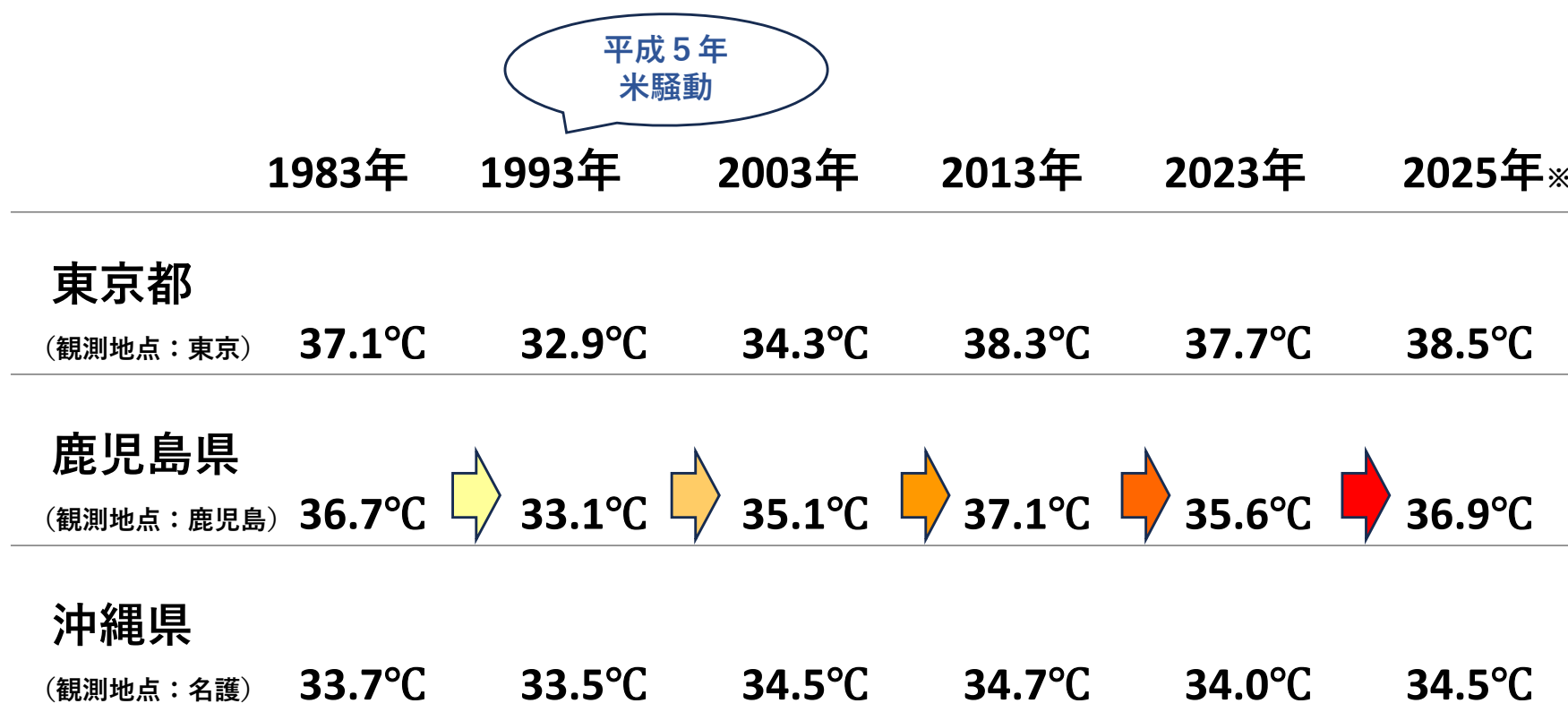
- 日本の平均気温は、100年あたり1.40℃の割合で上昇
- 2024年の年平均気温は、  
統計を開始した1898年（明治31年）以降、最も高い値
- 集中豪雨の発生回数も増加傾向



台風10号（2024年）



# (参考) 確かに、年々暑くなっています！



※2025年11月1日時点。

ちなみに、

日本の観測史上最高気温は、41.8℃

群馬県伊勢崎 (2025.8.5)

鹿児島市の観測史上最高気温は、37.4℃

鹿児島市 (2016.8.22)

(出典：気象庁ホームページを基に鹿児島県拠点で作成。)



- 全国各地での記録的な豪雨や台風等による被害が頻発
- 作物の収量減少・品質低下、漁獲量の減少など、国民の生活にも悪影響



九州北部豪雨（2017年）



山形・秋田大雨  
（2024年）



熊本豪雨（2020年）



河川氾濫によりネギ畑が冠水  
（2023年秋田県）



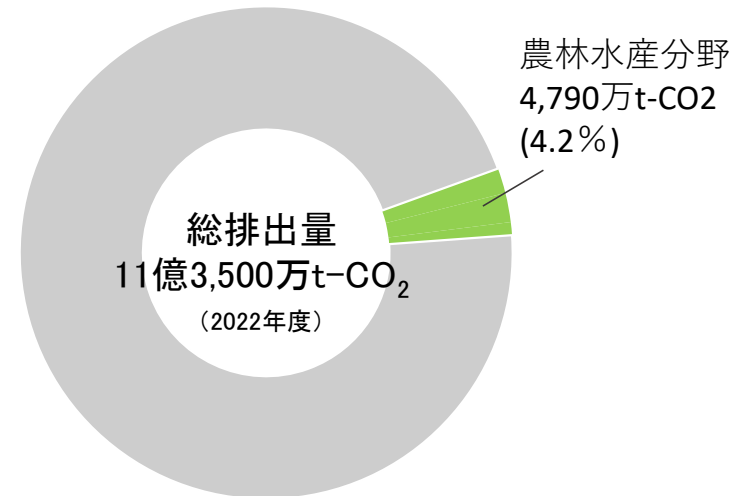
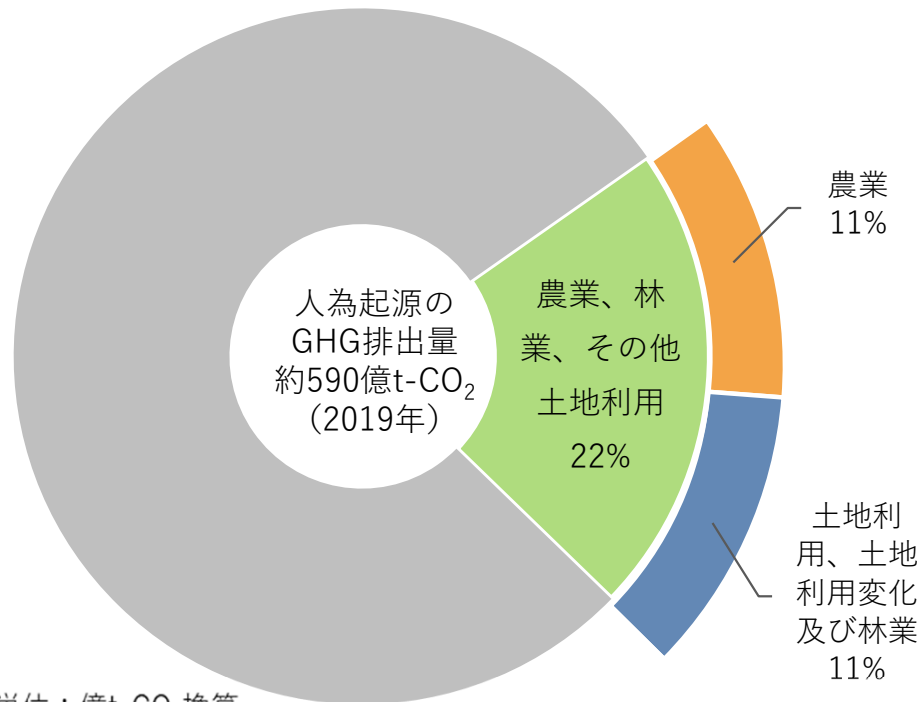
台風で被災したガラスハウス  
（2019年房総半島）

# 農業も環境に影響を与えています！

デジタル技術や国内資源の活用等により環境負荷を抑えることが必要！

世界（約590億 t）

日本（約11億 t）



スマート農業・農業DX

単位：億t-CO<sub>2</sub>換算

\*「農業」には、稲作、畜産、施肥などによる排出量が含まれるが、燃料燃焼による排出量は含まない。

出典：「IPCC第6次評価報告書第3作業部会報告書（2022年）」を基に農林水産省作成

出典：国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス「日本の温室効果ガス排出量データ」を基に農林水産省作成



可変施肥  
ドローン  
ヒートポンプ  
など

主要国は、以前から、環境政策を進める戦略を策定し、実行しています！

EU

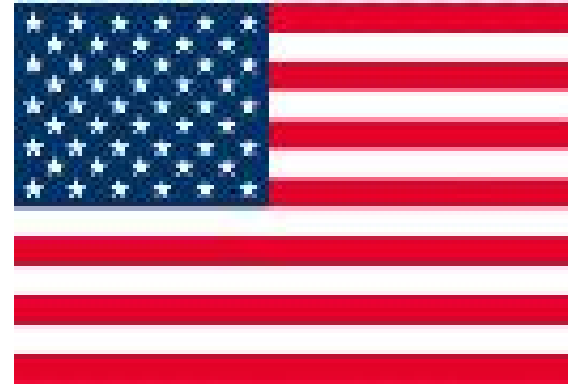


## 「Farm to Fork戦略」 (2020.5)

2030年までに

- ・化学農薬の使用及びリスクを50%減
- ・有機農業を25%に拡大

USA



## 「農業イノベーションアジェンダ」 (2020.2)

2050年までに

- ・農業生産量40%増加と  
環境フットプリント半減

(注) 環境フットプリントとは、人体の健康、生活の質、生態系など複数の環境影響領域を評価し、一定の算定基準で数値化する方法。

# 国別の売り上げ額は、 アメリカが8兆円超、 ドイツが2兆円超、中国、フランスが1兆円超です！

## 国別の有機食品売上額(2022年)




資料：FiBL&IFOAM「The World of Organic Agriculture statistics & Emerging trends 2024」を基に農林水産省農業環境対策課にて作成



# 国内の市場規模は、人口減少や高齢化に伴い、縮小！ 一方、世界の農産物マーケットは、 人口の増加に伴い、拡大する可能性があります！

## 国内市場の変化


|                    | 1990年     | 2020年           | ▲20%  | 2050年     |
|--------------------|-----------|-----------------|---|-----------|
| 人口                 | 1億2,361万人 | 1億2,586万人       |  | 1億1,900万人 |
| 高齢化率<br>(65歳以上の割合) | 12.1%     | 28.7%           |   | 37.7%     |
| 飲食料の<br>マーケット規模    | 72兆円      | 84兆円<br>(2015年) |   |           |
| 農業総産出額             | 11.5兆円    | 8.9兆円           |   |           |

人口減少、高齢化に伴い、  
国内の市場規模は縮小

※日本の人口は、  
2008年（1億2,808万人）をピークに減少。

資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」  
農林水産省「農林漁業及び関連産業を中心とした産業連関表（飲食費のフローを含む。）」、「生産農業所得統計」

## 海外市場の変化

|                          | 1990年                          | 2020年                             | +30%  | 2050年 |
|--------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|---|-------|
| 人口                       | 53億人                           | 78億人                              |  | 98億人  |
| 飲食料の<br>マーケット規模<br>(主要国) | —                              | 890兆円<br>(2015年)                  | → 1,360兆円<br>(2030年)  |       |
| 農産物貿易額                   | 4,400億ドル<br>(約42兆円)<br>(1995年) | 1兆5,000億ドル<br>(約166兆円)<br>(2018年) |   |       |

世界の農産物マーケットは  
拡大の可能性

- ・日本の農林水産業GDP（2019年）  
世界8位
- ・日本の農産物輸出額（2019年）  
世界50位

資料：国際連合「世界人口予測・2017年改訂版」、農林水産政策研究所「世界の飲食料市場規模の推計」、FAO「世界農産物市場白書（SOCO）：2020年報告」

# 地球温暖化等の課題に対応するため、2050年を目標に、 「みどりの食料システム戦略」を策定しました！

(令和3年5月)

## 令和4年に、「みどりの食料システム法」を施行！

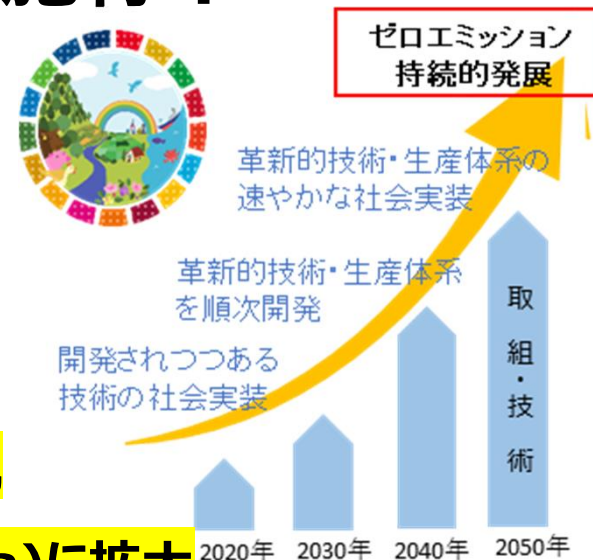
### ➤ 農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現

➤ (注) CO2ゼロエミッション化とは、2050年までに化石燃料起源のCO2排出量をゼロにすること。

### ➤ 化学農薬の使用量 (リスク換算) を50%低減

### ➤ 輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減

### ➤ 耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%(100万ha)に拡大



#### 経済



##### 持続的な産業基盤の構築

- ・輸入から国内生産への転換  
(肥料・飼料・原料調達)
- ・国産品の評価向上による輸出拡大  
など

#### 社会



##### 国民の豊かな食生活 地域の雇用・所得増大

- ・生産者・消費者が連携した  
健康的な日本型食生活
- ・地域資源を活かした地域経済循環  
など

#### 環境

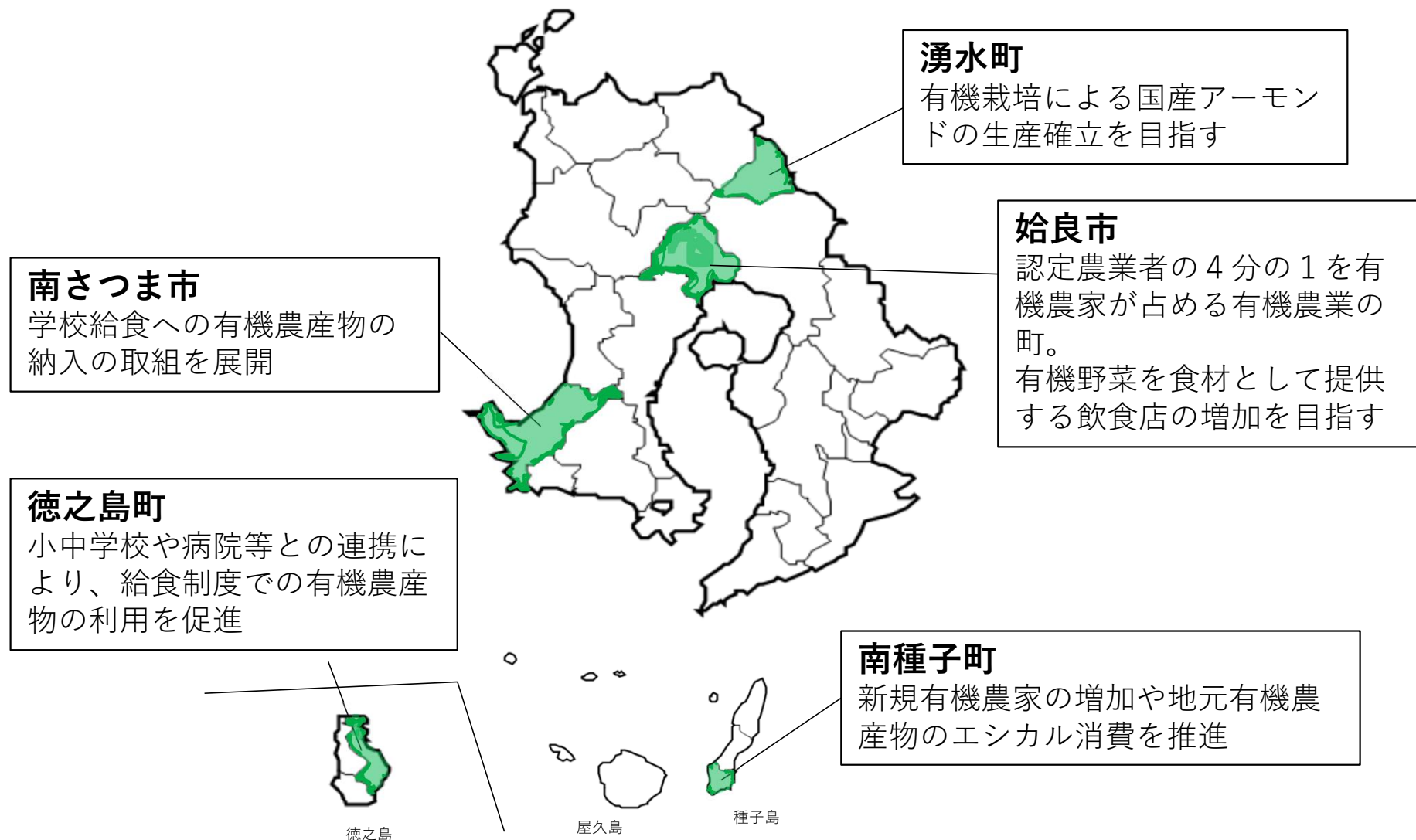


##### 将来にわたり安心して 暮らせる地球環境の継承

- ・環境と調和した食料・農林水産業
- ・化石燃料からの切替による  
カーボンニュートラルへの貢献  
など

# (参考) 「オーガニックビレッジ」に取り組んでいる鹿児島県の自治体

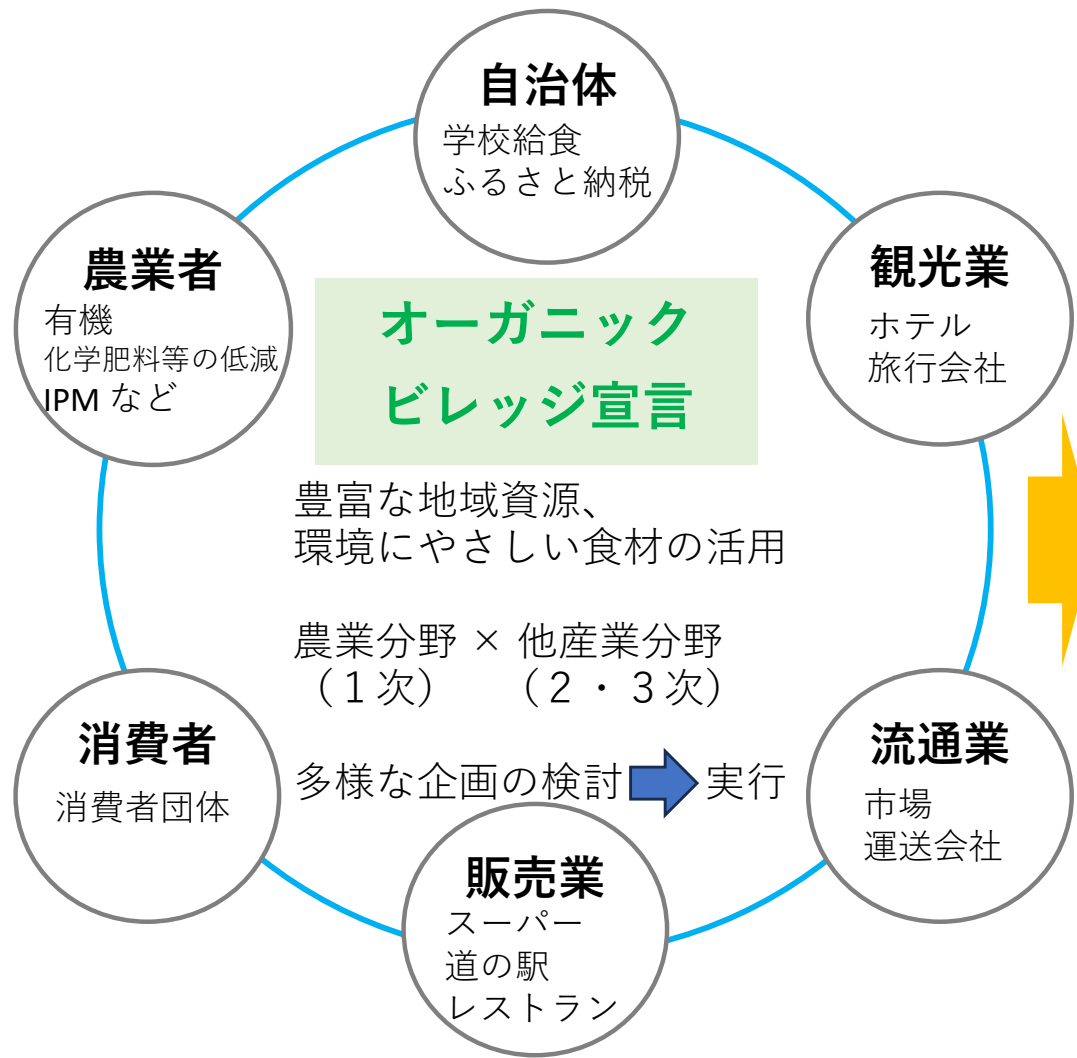
※「オーガニックビレッジ」とは、みどりの食料システム戦略推進交付金（有機農業産地づくり推進（緊急）事業）を活用し、有機農業の産地づくり等に取り組んでいる自治体。



※令和7年2月7日時点で、**鹿児島県は5市町**

# オーガニックをテーマに、 地域資源をフル活用し、鹿児島を盛り上げる！

- ・ 鹿児島には、自然、農産物等の地域資源が豊富
- ・ 各産業の関係者がコンソーシアムを組成し、  
「オーガニックビレッジ宣言」
- ・ 各産業分野が連携し、  
オーガニックをテーマとした各種イベントを企画
- ・ 農林水産省が政策等で後押し



有機農業の拡大



スーパーでの販売



ホテルでのイベント



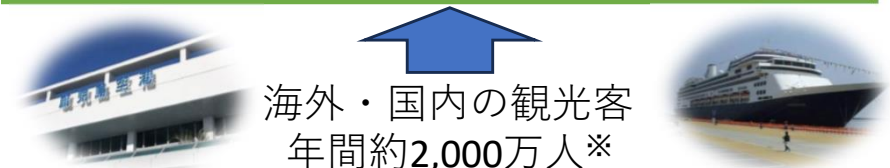
観光ルートの確立



学校給食での地場食材の  
活用（日本型食生活）



直売所・道の駅での販売



海外・国内の観光客  
年間約2,000万人※

鹿児島・産業の持続的な発展

※R 6年「延べ宿泊者数」と「延べ日帰り客数」の合計（「鹿児島県観光統計」から引用）



# 鹿児島県内の農業者等の取組事例 (ほんの一例)

# (参考) 堆肥等の地域資源を活用した肥料 (鹿児島市：JA鹿児島県経済連)

JA鹿児島県経済連は、化学肥料の原料価格高騰に対応するため、  
畜産堆肥を活用した低コスト肥料（堆肥と化学肥料を混合したペレット肥料）  
を開発

主に、茶用、園芸用として販売



(株) JA物流かごしま 肥料工場



ミドリリッチ茶1号、ミドリリッチ茶2号、アグリリッチ888

# (参考) 組合で有機農業 (鹿児島市：かごしま有機生産組合)

生産農業者数 約165名  
うちJAS有機認証済 約100名



有機農産物の直営店（「地球畑」）



有機JAS法に対応した育苗（始良市）



有機JAS認証の自社工場で加工品を製造



# IPM農法によるオクラの生産 (指宿市：JAいぶすきエコオクラグループ)

天敵昆虫等を活用し、  
化学農薬の使用量を減

会員23名 栽培面積6.4ha



ハウス栽培オクラ



露地栽培オクラ



生育中のオクラと花

<オクラ>

<ソルゴー>



- ・ オクラ畑の周りにバンカー植物（ソルゴー）を栽培。
- ・ ソルゴーには、オクラに害のないアブラムシが発生。そこに益虫のテントウムシ等を呼び込む。
- ・ そして、テントウムシ等がオクラに繁殖したアブラムシも食べる。



ヒメカメノコテントウ

VS



アブラムシ

# (参考) IPM農法の実践 (志布志市：JAそお鹿児島ピーマン部会)

天敵昆虫等を活用し、  
化学農薬の使用量を減

会員100名 栽培面積28ha



生育中のピーマン



ヒメカメノコテントウ

VS



ヒエノアブラムシ



# (参考) JGAPを取得し、減農薬栽培 (薩摩川内市：有限会社松田農場)

金柑では、日本初の「JGAP」を2013年に取得  
有機肥料を活用しつつ、減農薬栽培を実施



登録番号 460000014





# (参考) 有機栽培の桑葉で 6 次産業化 (始良市：株式会社わくわく園)

「消えゆく桑の葉に再び光を」、  
「食べるものが体を作る」の考えで、  
有機栽培による桑葉の生産



有機JAS認定圃場（桑葉）



有機JAS認証工場で桑茶などを製造  
(自社完結型ビジネスモデル)



観光地の売店でも販売



# (参考) ナノファイバーで減農薬 (薩摩川内市：須賀農園)

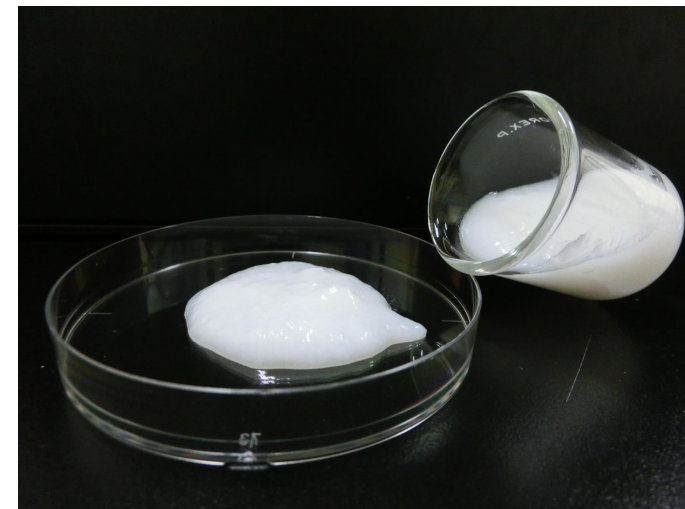
中越パルプが開発したセルロースナノファイバー（竹の抽出液で細菌等の侵入を防ぐ効果がある）を用いた物理的防除により、化学農薬の使用低減に寄与



ハウス内の鉢植えアジサイ



栽培中のラナンキュラス



ナノファイバー



# (参考) 下水汚泥の利用 (鹿児島市水道局下水汚泥堆肥化場)

下水汚泥を利用した肥料を開発  
年間約1万トンの製造・販売



下水汚泥発酵肥料「サツマソイル」



発酵中の堆肥



完成した堆肥

# **みどりの食料システムの実現に向けた 九州農政局鹿児島県拠点の取組**

**「みどりの食料システム戦略推進鹿児島ネットワーク」の  
会員等の皆さんの取組を支援するためのイベントを企画**

# 令和7年度の取組計画

|      | 第一四半期  | 第2四半期                                   | 第3四半期  | 第4四半期                                   |
|------|--|---|--|---|
| 取組時期 | ・みどり鹿児島NW報告会<br>4/21（月）                                  | ・みどり鹿児島NW報告会<br>7/29（火）                 | ・みどり鹿児島NWディス<br>カッション11月頃  | ・みどり鹿児島NW報告会<br>2月頃                     |
|      | ・みどりの食料システム戦略<br>推進鹿児島ネットワークへの<br>加入の促進                  |   |  |   |
|      | ・消費者向けセミナー（料理<br>教室：あきの舞、ジビエ、有<br>機食材、IPMオクラ）<br>6/21（土） | ・小・中学生向けパンフレット<br>の作成・配布                | ・農業系高等学校等への出前<br>授業の実施   |   |
|      |  | ・消費者向けセミナー（料理教<br>室：夏野菜等）9/27（土）        |  | ・消費者向けセミナー（料理<br>教室：農業女子PJとのコラ<br>ボ）1月頃 |
|      | ・みえるらべるの普及   |   |  |   |
|      |  | ・環境にやさしい農産物（IP<br>Mオクラ）のPR販売<br>7/27（日） | ・環境にやさしい農産物（お<br>茶、花を含む。）のPR販売<br>（有機、IPM、みえるらべ<br>る等）                       |   |
|      | ・「オーガニックビレッジ宣<br>言」に向けた市町村長への要<br>請活動                    |   | ・オーガニック・地産地消等<br>ツアールート of 更新・PR<br>（鹿児島市近郊、種子屋久、<br>奄美ルート、お茶版（県全<br>体））11月頃 |   |

みどりの食料システム戦略に関心  
を持っていただく方を増やし、  
みどりの食料システム戦略に関する  
取組をより一層推進していくため、

「みどりの食料システム戦略推進  
鹿児島連絡協議会」を「みどりの食  
料システム戦略推進鹿児島ネット  
ワーク」に改称し、

消費者、農業者、農業者団体、自  
治体、民間事業者等に対して、幅広  
く参加を呼びかけ。

## みどりの食料システム戦略推進 鹿児島ネットワークに参加しませんか？

会費は無料です！

ネットワークの会員になっていただくと

- ・ みどりの食料システム戦略に関する施策の情報を提供
- ・ 各種イベントのご案内や取組事例等のご紹介をさせていただきます。

令和6年度の主なイベント



現地研修会(化学肥料・農業の低減)



現地研修会(有機栽培)



環境にやさしい食材を使用した料理  
教室 セミナー(県栄養士会と共催)



環境にやさしい農産物のスーパー  
でのFF販売

会員登録は、WEBで

[https://www.contactus.maff.go.jp/j/kyusyu/form/kagoshima\\_network.html](https://www.contactus.maff.go.jp/j/kyusyu/form/kagoshima_network.html)

登録の方は  
こちら



【お問合せ先】  
農林水産省九州農政局鹿児島県拠点  
担当：秋高、杉本、野元  
TEL 099-222-7590



# みどりの食料システム戦略 小・中学生向けのパンフレット

## 「みどりの食料システム戦略」の取組 (環境への負担を減らす取組)



地球温暖化が、社会的な問題になっているよね！  
温暖化の要因は、温室効果ガス(CO<sub>2</sub>, CH<sub>4</sub>等)の増加なんだよね！

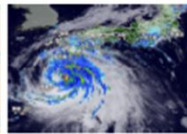


温暖化の影響で、日本の平均気温は、100年で1.40℃上昇！  
集中豪雨も増えて、農作物がとれにくくなっているよ。  
それに、紛争や異常気象によって、穀物や肥料・農薬の原料の輸入も心配されるんだよ。

鹿児島県の年平均気温



熊本豪雨(2020年)



台風10号(2024年)

農作物の収量減少・品質低下



農林水産省は、「みどりの食料システム戦略」を作って、  
地球温暖化等の課題解決につなげることにしているんだよ！

2050年を目標として

- ・CO<sub>2</sub>排出量をなるべくゼロにしよう！
- ・化学農薬の使用を50%減、化学肥料の使用を30%減しよう！
- ・有機農業を25%(100万ha)に拡大しよう！

など

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



鹿児島県でも、「環境にやさしい農業」に取り組んでいるよ！

【有機農産物】

農薬や化学肥料等に極力頼らず、  
自然界の力で生産



【IPM栽培】

農薬の代わりに、テントウムシなどを使って、  
害虫を退治



知らなかった！これからは、環境にやさしい農業が大切だね！

農林水産省  
九州農政局

## 「地産地消」って知ってる？ (みんなが食べている食材は、どこで生産されたもの？)



最近食べすぎてお腹が…。何か良い方法はないかな？



そんなときは、「食事バランスガイド」がおすすめだよ！



「主食」「副菜」「主菜」「牛乳・乳製品」  
「果物」の5つのグループをまんべんなく、  
コマの形になるように食べると、バラン  
スがとれる食事になるんだね。  
給食は、バランスばっちり！

食事バランスガイド(かごしま版)



ところで、クマさん。給食の食材って  
どこで生産されたものか知ってる？



そういわれると、あまり考えたことなかったな…。



鹿児島県内で作られたものを食べることを  
**地産地消**っていうんだよ！



例えば、  
・給食に使われている  
食材は何だろう？  
・どこで作られて  
いるんだろう？  
・どんな栽培方法  
なんだろう？  
なんて考えながら食べると、  
まだおいしいさも  
変わってくると思うよ！

きびなご：○○産

牛乳：◇◇産

黒糖：ママ産

米：○○産

野菜：△△産



左側写真：鹿児島県立大学附属高等学校



鹿児島県統計局の  
ページは、こちらから

地産地消かぁ！  
食材が鹿児島県産って分かったら、消費者も安心して食料を  
買えるし、農業者も売り先がはっきりして、安心だね！  
是非、今度調べてみよう！



農林水産省  
九州農政局



# 6月21日（土） 環境にやさしい農産物などを使用した料理教室

鹿児島県栄養士会とのコラボ企画により、料理教室を実施。

有機野菜やIPMオクラなどの環境にやさしい農産物、暑さに強く品質が低下しにくい米として開発された「あきの舞」のほか、地産地消も意識して、ジビエ肉（鹿・猪）を使用。



（調理の様子）



（完成した料理）

試食のときに、「これからは、環境にやさしい農業と地産地消が大切！」と題して講話を実施。



# 7月27日（日） 環境にやさしい農産物のPR販売

J A いぶすきオクラ部会とのコラボ企画により、  
Aコープいしき店において、**IPM栽培オクラのPR販売**を実施。  
その際、オクラの浅漬けの試食も実施。



（オクラの浅漬け）



# (参考) 首都圏の店舗での売り場の事例

(慣行栽培と有機JASの農産物の違い (価値) を伝える)



さて、鹿児島  
の店頭は？

(店頭では、農業者が生産した  
農産物を積極的にPR)



# (参考) 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」

- 化学肥料・化学農薬の使用低減などの栽培情報を用いて、温室効果ガス削減への貢献の度合いを、星の数で表示。

(米の場合の例)

## 生物多様性保全への配慮

### <取組一覧>

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 化学農薬・化学肥料の<br>不使用               | 2点 |
| 化学農薬・化学肥料の<br>低減<br>(5割以上10割未満) | 1点 |
| 冬期湛水                            | 1点 |
| 中干し延期または中止                      | 1点 |
| 江の設置等                           | 1点 |
| 魚類の保護                           | 1点 |
| 畦畔管理                            | 1点 |

★ : 取組の得点1点  
★★ : // 2点  
★★★ : // 3点以上

見る × 選べる  
≡  
みえるらべる



【鹿児島市の店舗の様子】





# (参考) みえるらべるの取得 (阿久根市：まるよし農産)

まるよし農産では、鹿児島県内で初めて「みえるらべる」を取得

令和6年産のお米に「みえるらべる」を表示して販売



まるよし農産の代表



取得された「みえるらべる」

堆肥の使用（化学肥料の散布ゼロ）や中干し延長（メタンガス排出の削減）を行うことで、温室効果ガス排出量の削減貢献率が20%以上となり、3つ星★★★★を取得

化学農薬・化学肥料の使用量の低減（5割以上減）や中干し延長を行うことで、生物多様性保全への配慮の取組が2得点となり、2つ星★★を取得

# これから店頭でよく見かけるようになる農産物！

## 【有機農産物】

農薬や化学肥料等に極力頼らず、自然界の力で生産



## 【IPM栽培】

農薬の代わりに、テントウムシなどを使って、害虫を退治



見る×選べる  
**みえるらべる**

環境負荷低減の取組の  
「見える化」



**選択肢の一つに！**  
(未来の子供達のために)



農産物の安定生産・供給



飛んできたコウノトリやサギ（石川県内）



# 「オーガニック・地産地消等ツアールート」も作ってみました！

「自然」×「産業」×「有機食材」 ➡ 鹿児島島の付加価値向上！

令和6年度は、  
・ 錦江湾一周  
・ 始良・伊佐・霧島方面  
・ 北薩方面  
・ 南薩方面  
の4ルートを作成

今後は、  
鹿児島近郊、種子島、  
奄美大島方面を検討



九州農政局鹿児島県拠点のホームページ

[https://www.maff.go.jp/kyusyu/kagoshima/Introduction to the course in the southern Satsuma area.html](https://www.maff.go.jp/kyusyu/kagoshima/Introduction%20to%20the%20course%20in%20the%20southern%20Satsuma%20area.html)

